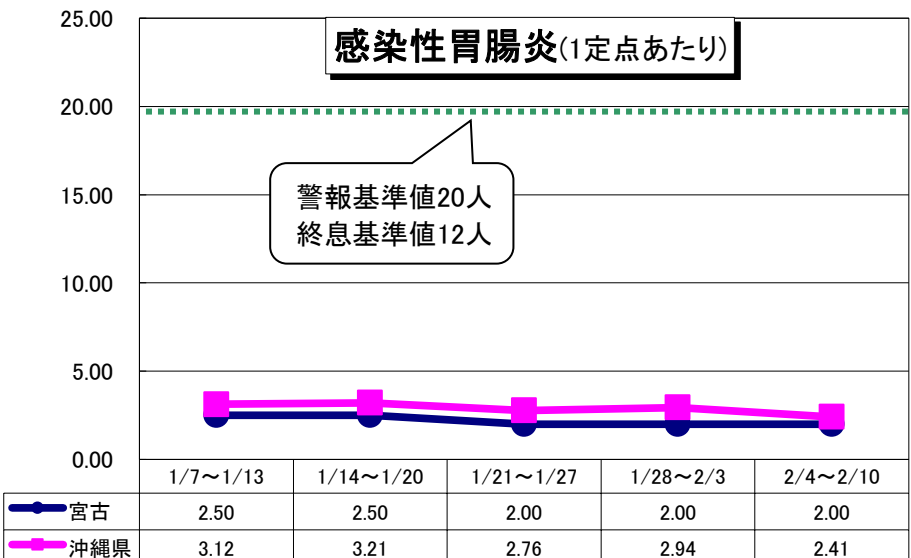
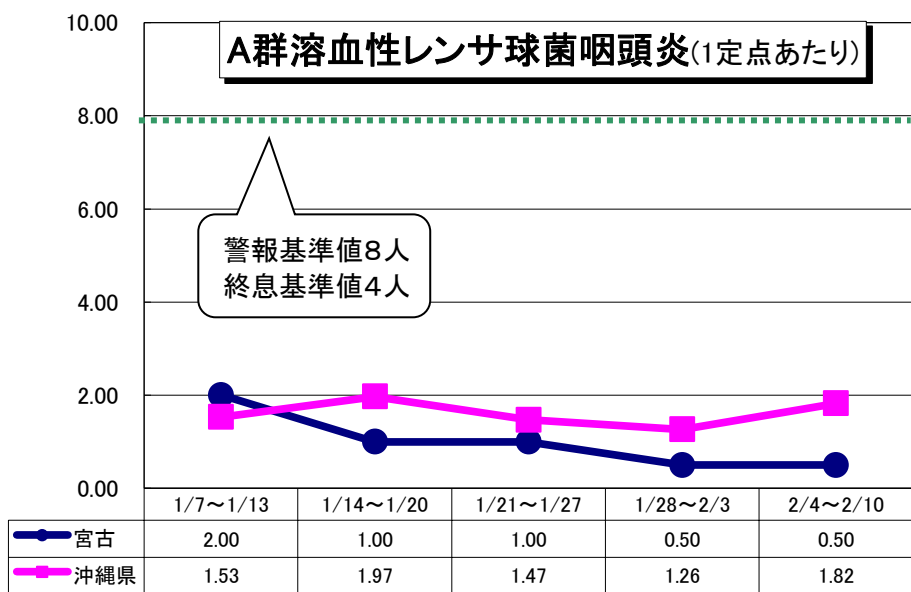
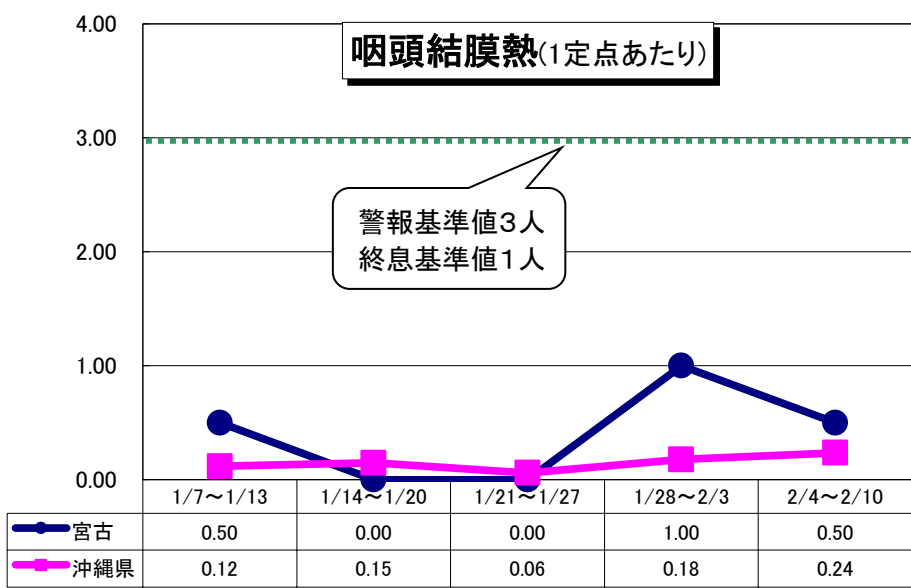
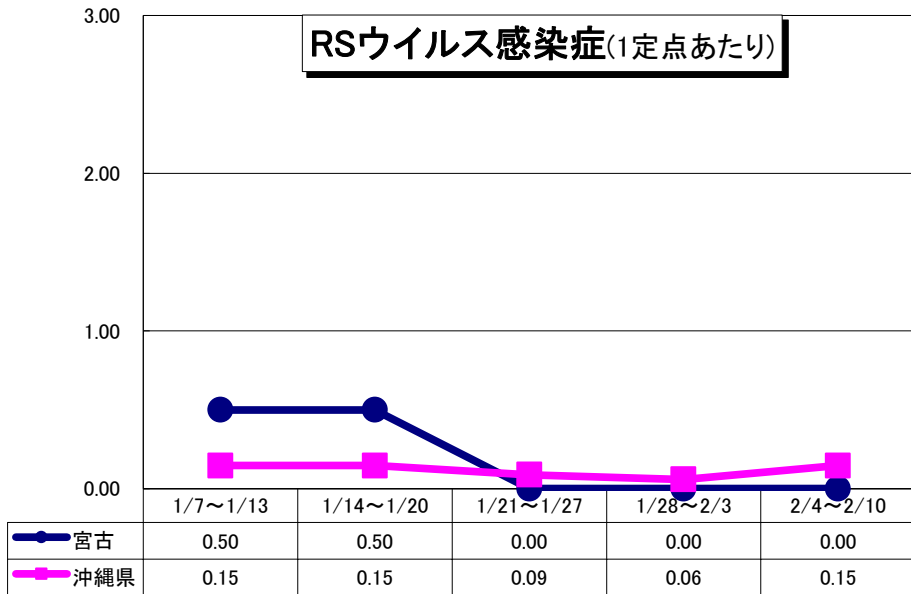


宮古保健所管内 感染症発生動向（第6週） 平成31年2月



* インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数は

宮古 : 16.00人→28.25人→30.50人→20.50人→**15.00人**
 沖縄県 : 41.79人→54.69人→49.10人→47.14人→**35.50人**
 全国 : 38.54人→53.91人→57.09人→43.24人→**26.28人**

* 定点報告疾患について

- 県全体の警報・注意報レベルに達した疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> **インフルエンザ**
 <注意報レベル> なし
- 各保健所で警報・注意報レベルの疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> **インフルエンザ**(那覇市、北部、中部、南部、宮古、八重山)
 水痘(八重山)
伝染性紅斑(北部、宮古)
 <注意報レベル> なし



* 全数報告疾患について

- 二類 : 結核(南部2件、宮古2件)
- 三類 : 腸管出血性大腸菌感染症(南部2件)
- 五類 : 侵襲性インフルエンザ菌感染症(那覇市1件、南部1件)
 百日咳(中部1件、南部1件)



* 風しん

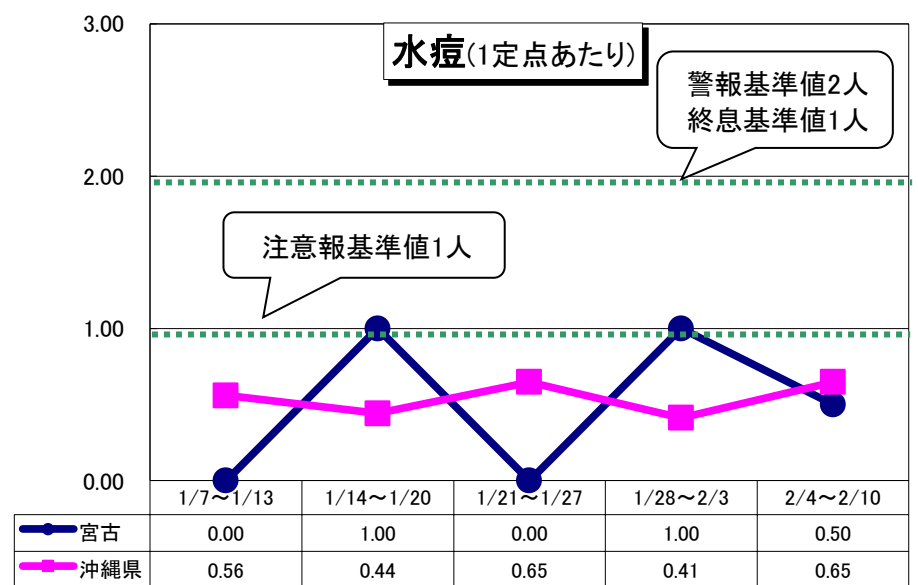
関東で30~50代男性を中心に風しんが流行しています。沖縄県内では2018年に12件、2019年に4件の報告があります。これまで風しんにかかっていない方、風しんの予防接種を受けていない方、妊娠を希望する女性等は注意してください。必要があれば予防接種を検討してください。

* 伝染性紅斑(俗名:りんご病)

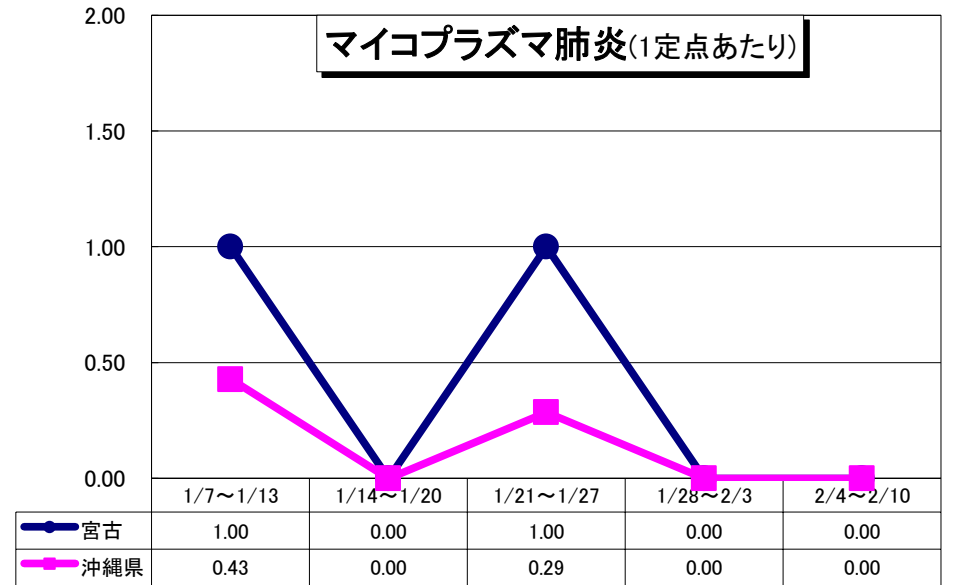
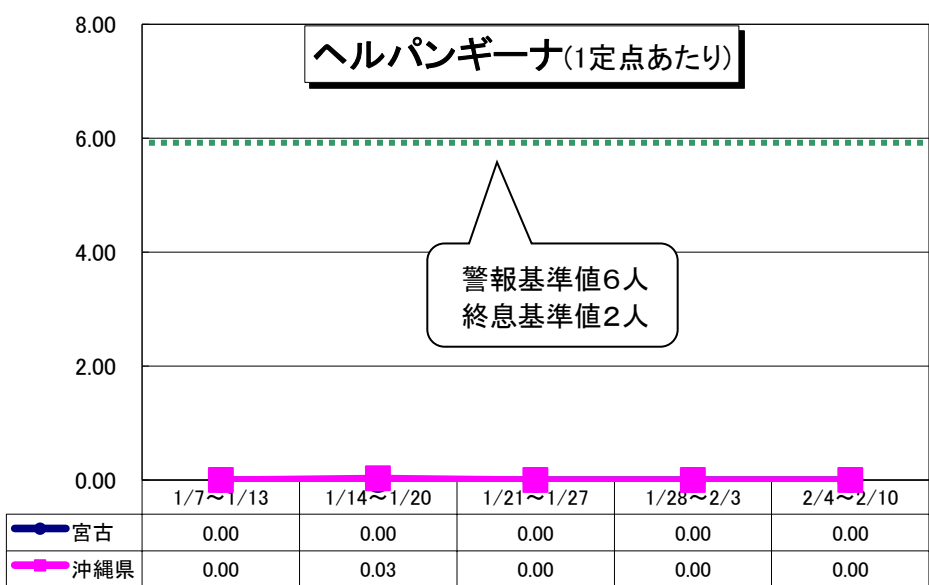
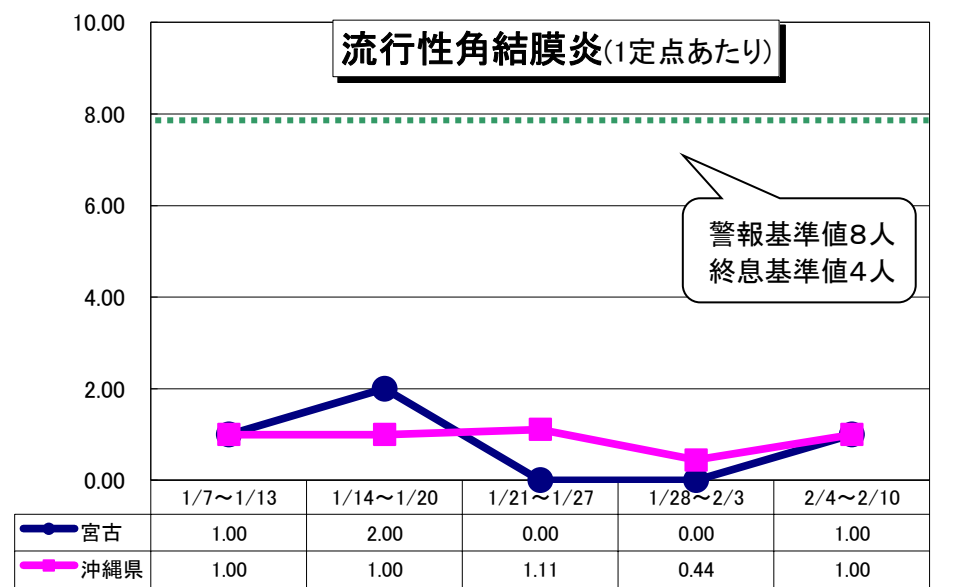
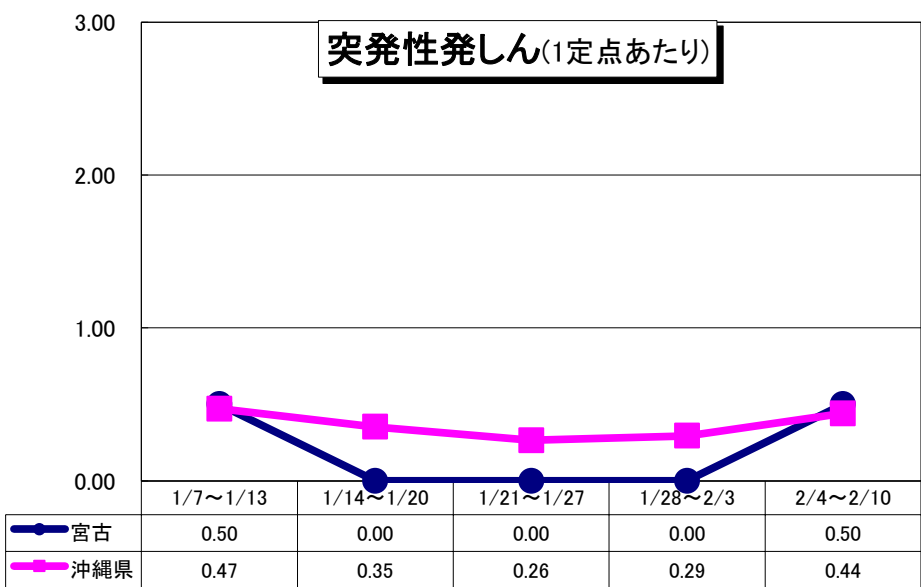
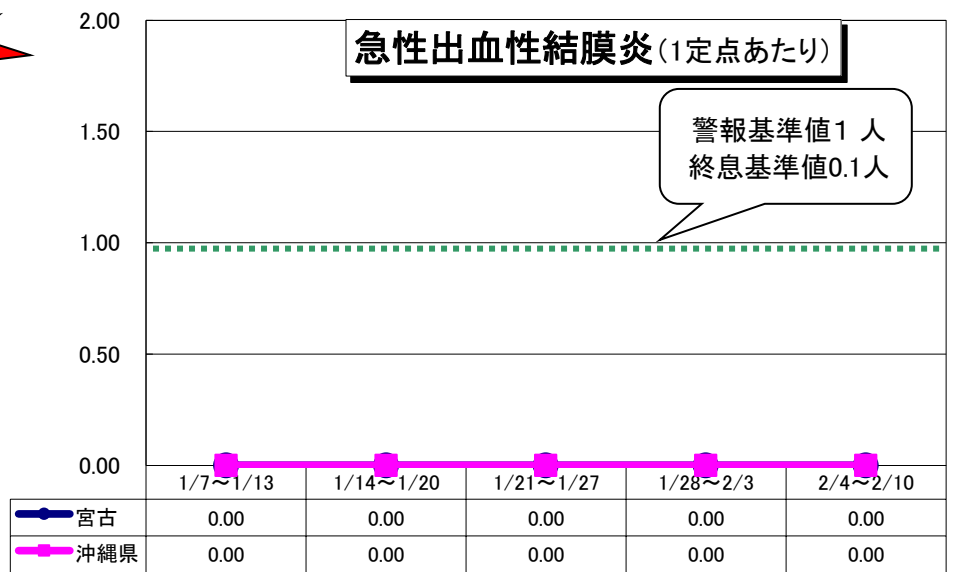
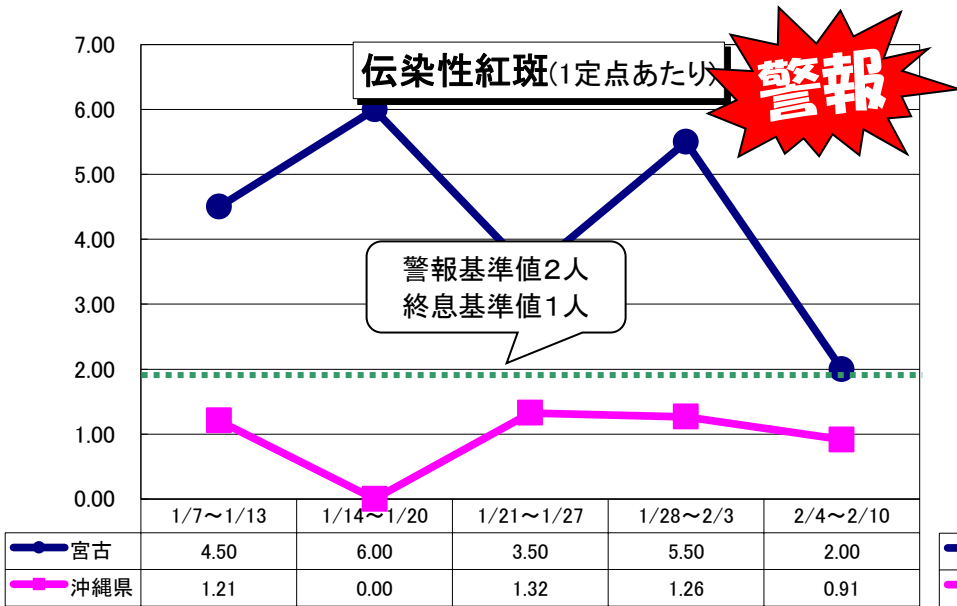
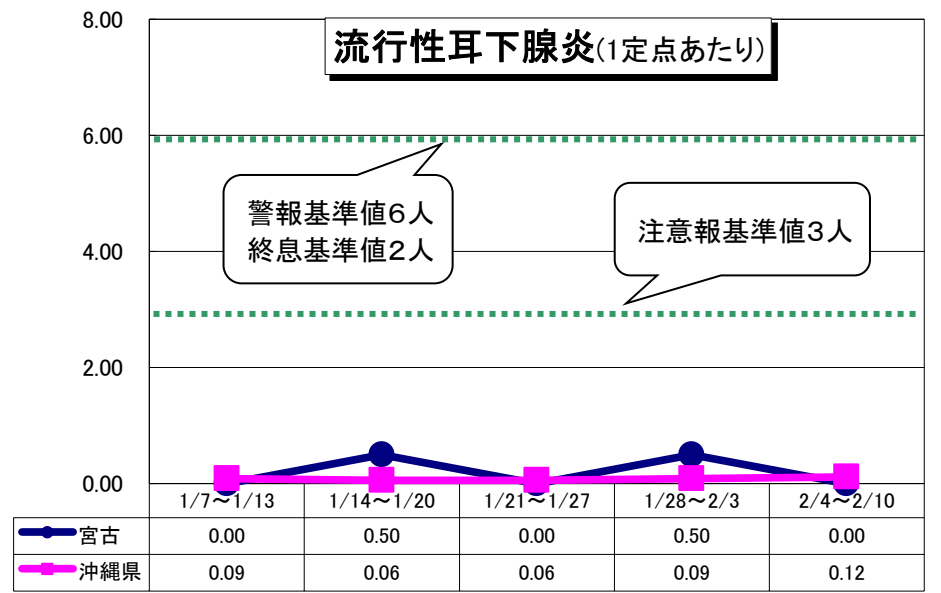
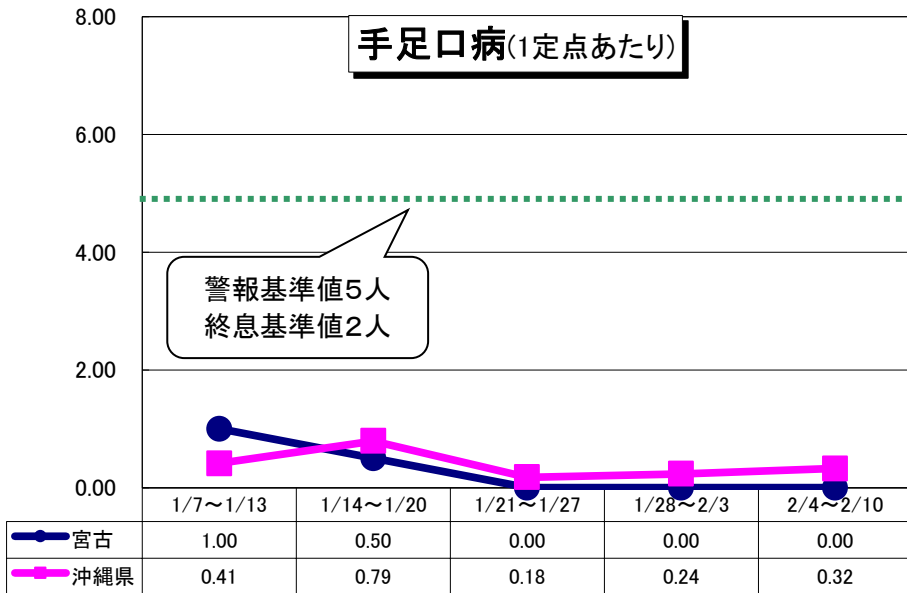
宮古管内で伝染性紅斑が警報レベルとなっています。伝染性紅斑は通常飛沫・接触にて感染しますが、紅斑の出現する時期には既に感染力はありません。

* インフルエンザ

インフルエンザ患者が急増し、県全体に警報が出ています。宮古管内も警報レベルです。「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策の徹底に加えて、発熱等がある場合は、不要不急の外出を控えてください。必要があれば予防接種を検討してください。

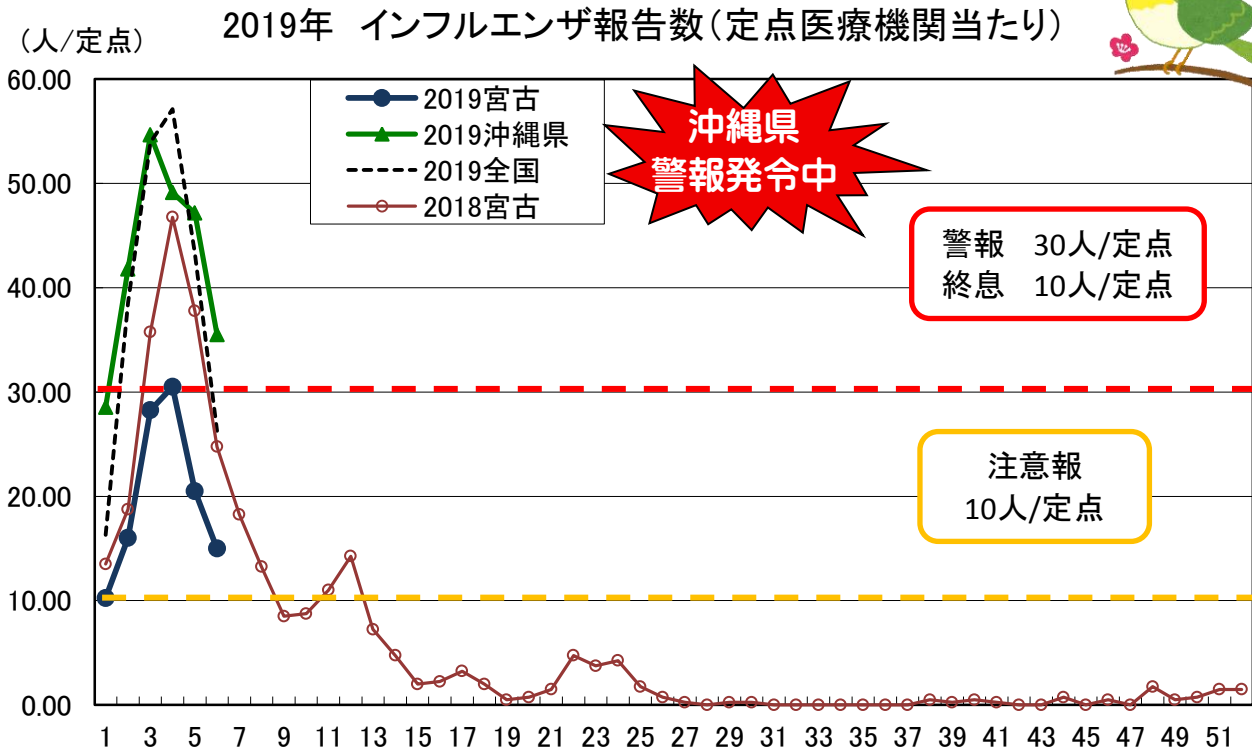


宮古保健所管内 感染症発生動向 (第6週) 平成31年2月



宮古保健所管内 インフルエンザ (第6週 2/4~2/10)

1. 定点あたり報告数の推移



		1月					2月
保健所等\週		1	2	3	4	5	6
インフルエンザ (報告数)	北部	100	141	201	145	112	101
	中部	357	800	819	1046	1004	825
	那覇市	614	621	1083	686	697	545
	南部	442	590	761	695	737	454
	宮古	41	64	113	122	82	60
	八重山	101	208	195	154	102	74
	沖縄県	1655	2424	3172	2848	2734	2059
	全国	78116	190527	267596	283388	214592	129989
インフルエンザ (定点あたり報告数)	北部	20.00	28.20	40.20	29.00	22.40	20.20
	中部	17.85	40.00	40.95	52.30	50.20	41.25
	那覇市	51.17	51.75	90.25	57.17	58.08	45.42
	南部	31.57	42.14	54.36	49.64	52.64	32.43
	宮古	10.25	16.00	28.25	30.50	20.50	15.00
	八重山	33.67	69.33	65.00	51.33	34.00	24.67
	沖縄県	28.53	41.79	54.69	49.10	47.14	35.50
	全国	16.30	38.54	53.91	57.09	43.24	26.28

宮古管内
警報レベル

警報
(30人以上)

注意報
(10人以上)

流行の兆し
(1.0人以上)

2. 管内の学級閉鎖等 (期間)

なし

【学校等欠席者・感染症情報システムより】

3. インフルエンザによる入院

なし

うつらないために
手洗い



うつさないために
咳エチケット



宮古保健所管内 インフルエンザ（第6週 2/4～2/10）

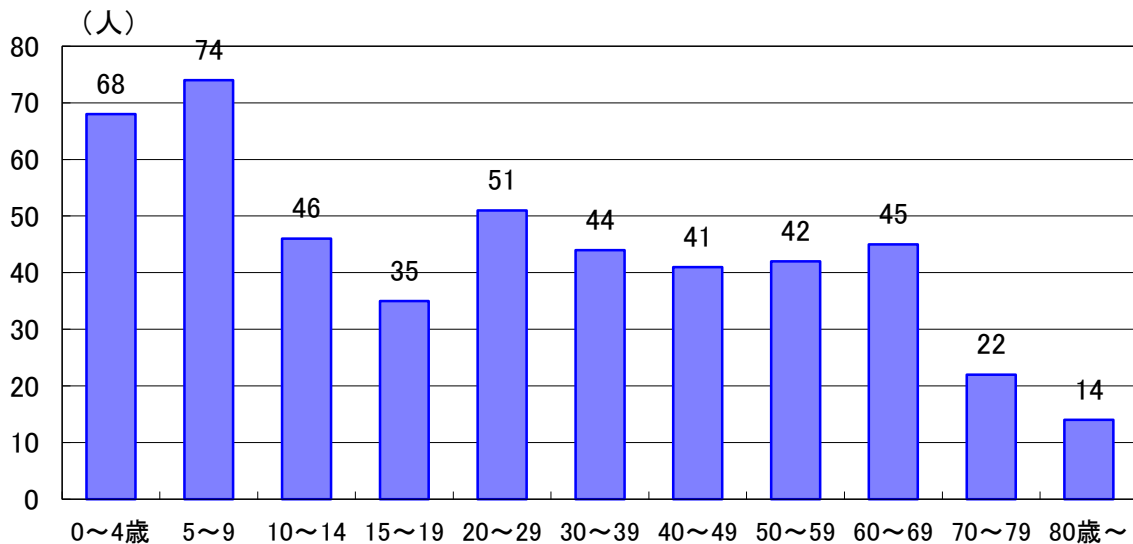
4. 年齢階級別報告数（直近7週間）

年齢\週	52	1	2	3	4	5	6
	12/24～ 12/30	12/31～ 1/6	1/7～ 1/13	1/14～ 1/20	1/21～ 1/27	1/28～ 2/3	2/4～2/10
0-4歳	1	3	10	13	15	18	9
5-9歳	0	4	11	19	18	13	9
10-14歳	2	1	0	26	9	4	6
15-19歳	0	3	4	5	13	8	2
20-29歳	2	10	4	8	15	10	4
30-39歳	0	3	9	8	7	8	9
40-49歳	1	2	9	9	14	2	5
50-59歳	0	5	6	11	10	7	3
60-69歳	0	5	6	10	10	6	8
70-79歳	0	2	4	4	5	3	4
80歳以上	0	3	1	0	6	3	1
合計	6	41	64	113	122	82	60

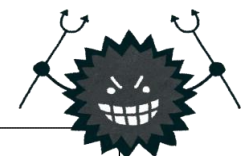
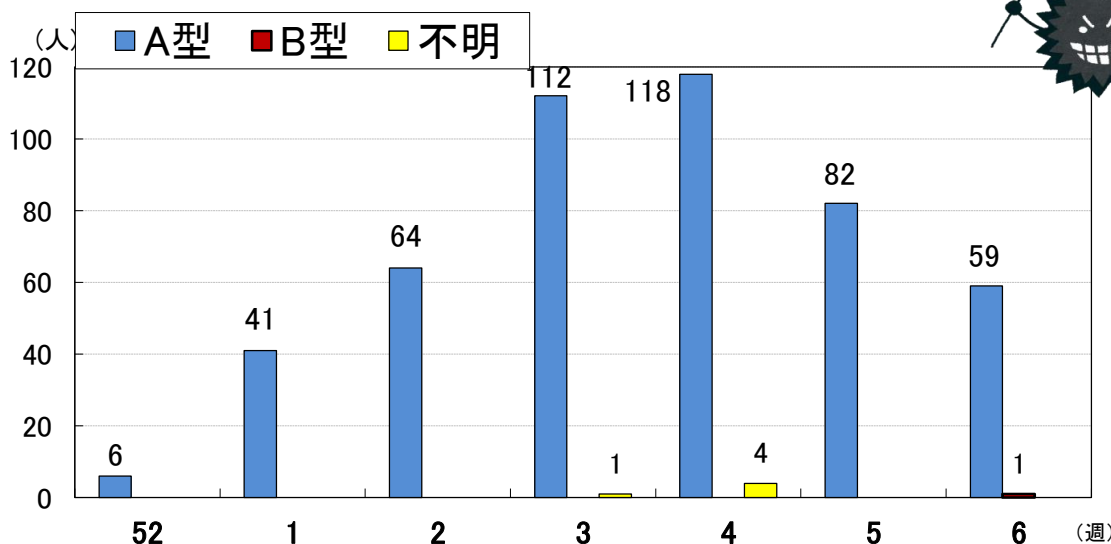
インフルエンザ
の予防接種を



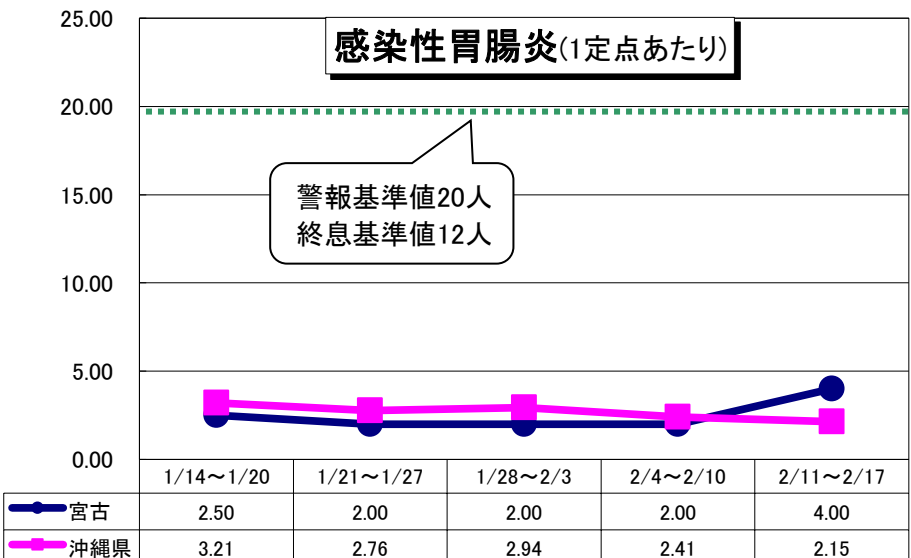
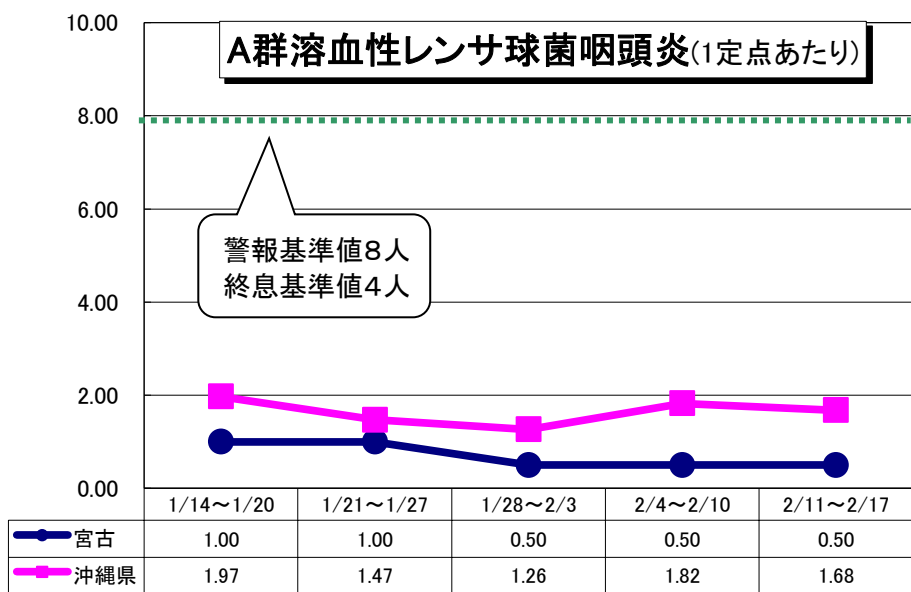
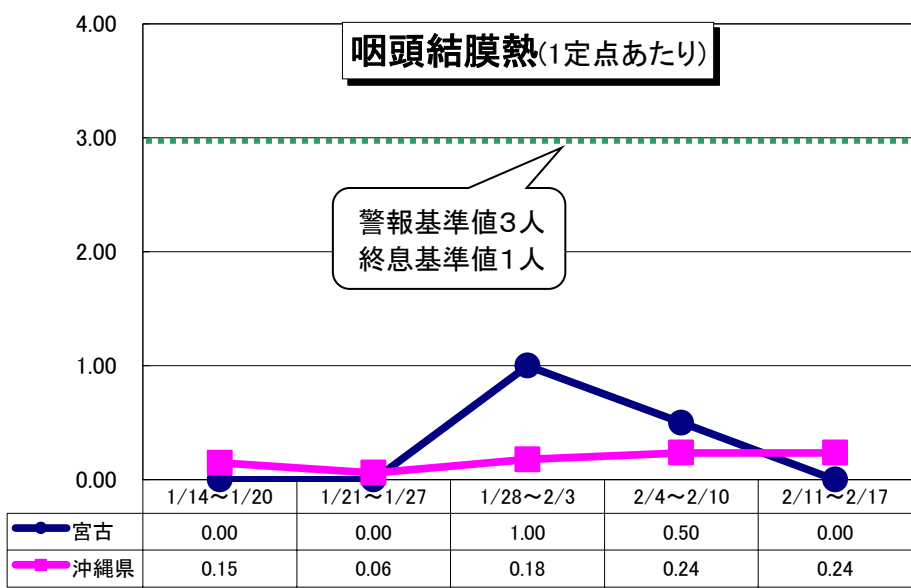
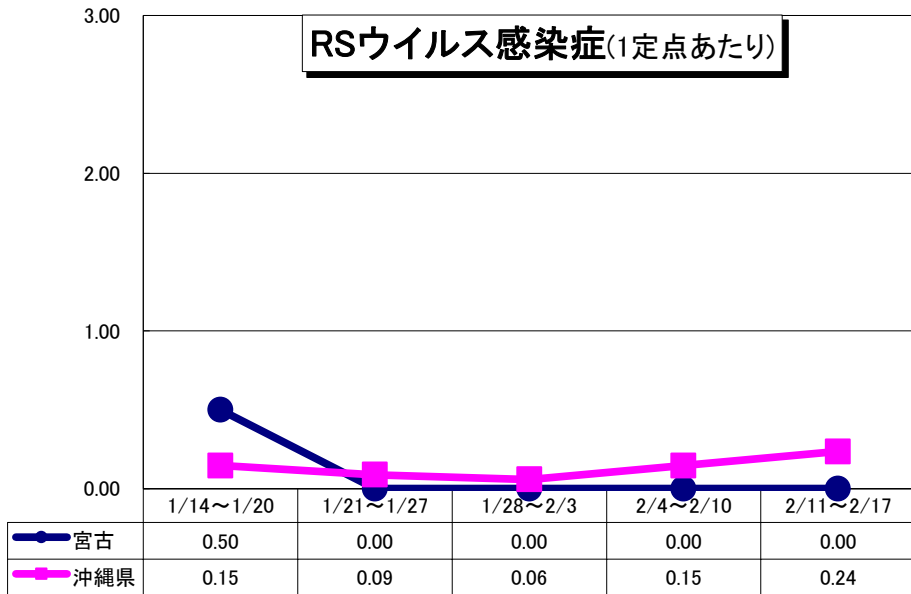
5. 年齢階級別報告数（2019年宮古管内累計）



6. 管内のインフルエンザ型別内訳



宮古保健所管内 感染症発生動向（第7週） 平成31年2月



* インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数は

宮古 : 28.25人→30.50人→20.50人→15.00人→**8.00人**
 沖縄県 : 54.69人→49.10人→47.14人→35.50人→**23.24人**
 全国 : 53.91人→57.09人→43.24人→26.28人→**12.49人**

* 定点報告疾患について

- 県全体の警報・注意報レベルに達した疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> **インフルエンザ**
 <注意報レベル> なし
- 各保健所で警報・注意報レベルの疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> インフルエンザ(那覇市、北部、中部、南部、八重山)
 水痘(八重山)
伝染性紅斑(北部、宮古)
 <注意報レベル> なし



* 全数報告疾患について

- 二類 : 結核(北部1件、中部1件、南部1件)
- 三類 : 腸管出血性大腸菌感染症(南部1件)
- 五類 : アメーバ赤痢(南部1件)
 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(南部1件)
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(南部1件)
 後天性免疫不全症候群(南部2件)
 侵襲性肺炎球菌感染症(那覇市2件)
 梅毒(那覇市1件、南部1件)
 百日咳(那覇市1件)
 風しん(中部1件、南部2件)



* 風しん

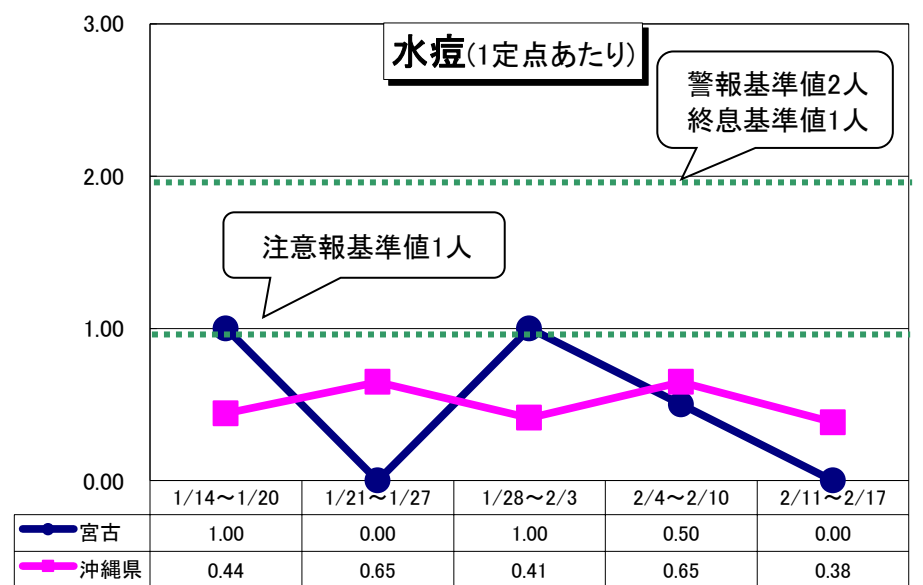
関東で30~50代男性を中心に風しんが流行しています。沖縄県内では2018年に12件、2019年に7件の報告があります。これまで風しんにかかっていない方、風しんの予防接種を受けていない方、妊娠を希望する女性等は注意してください。必要があれば予防接種を検討してください。

* 伝染性紅斑(俗名:りんご病)

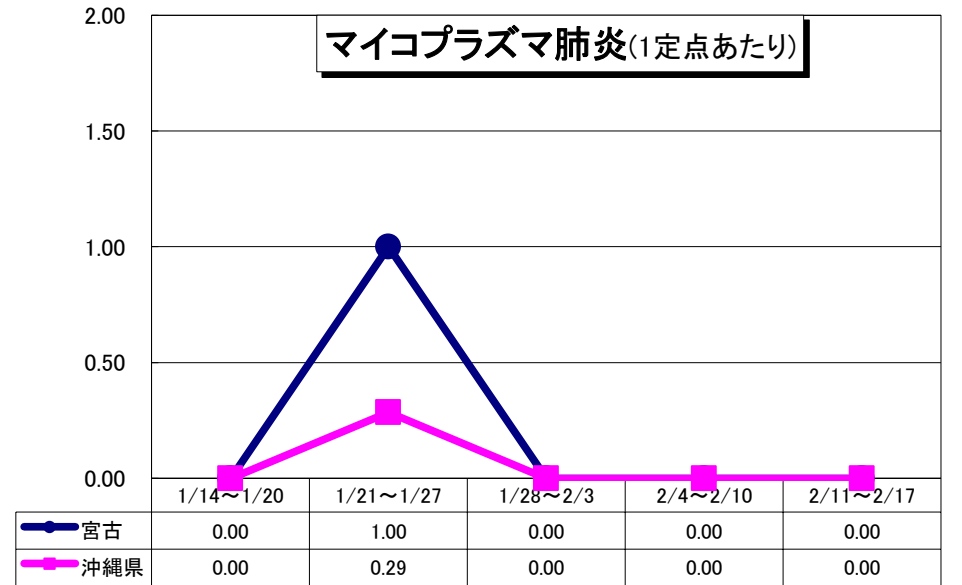
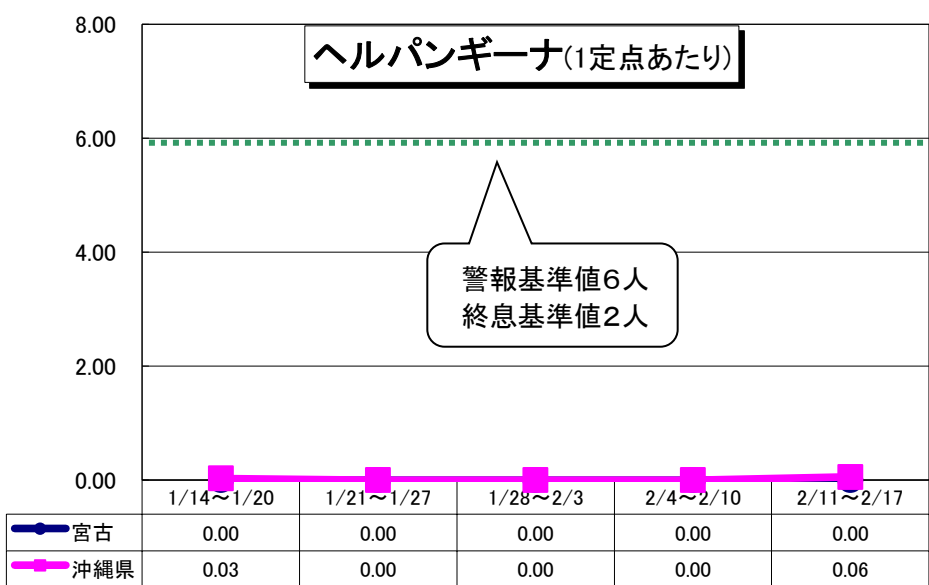
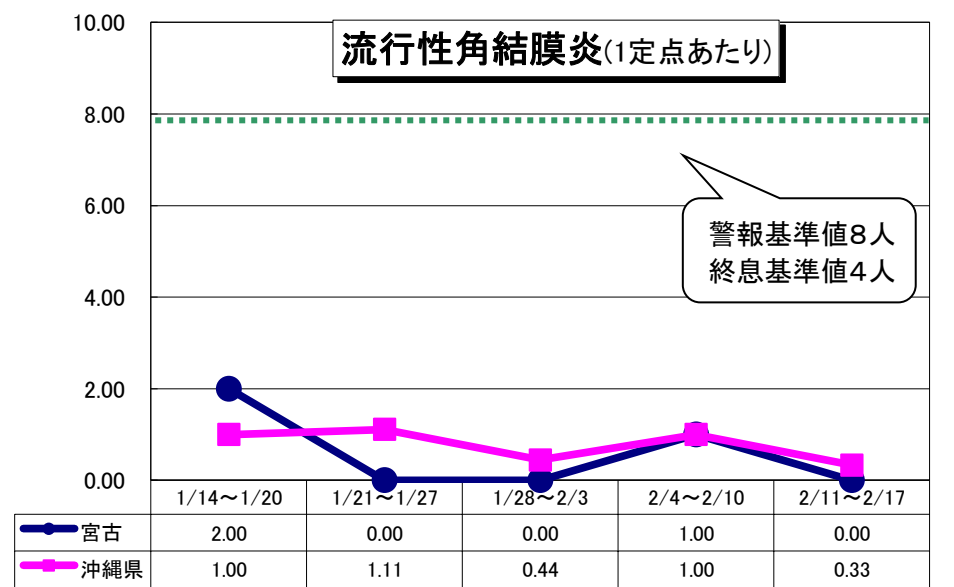
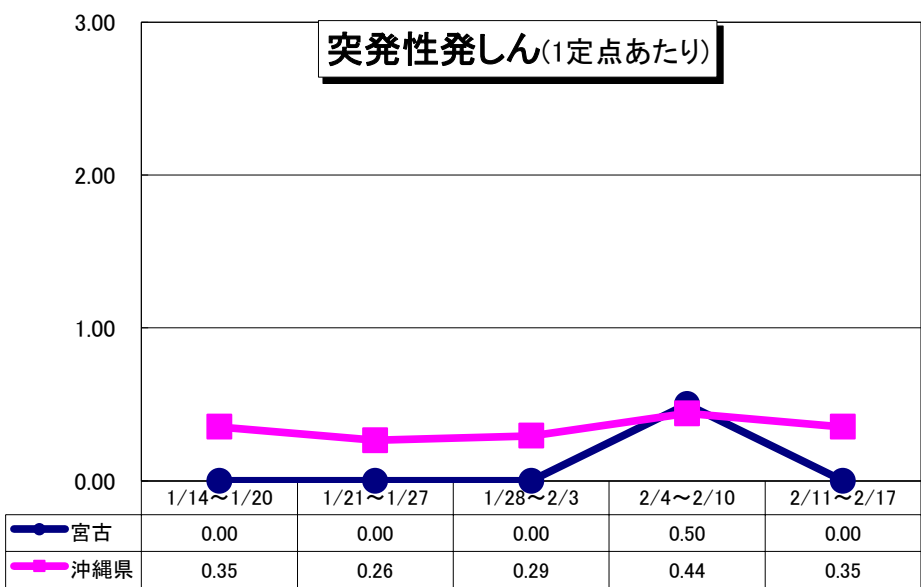
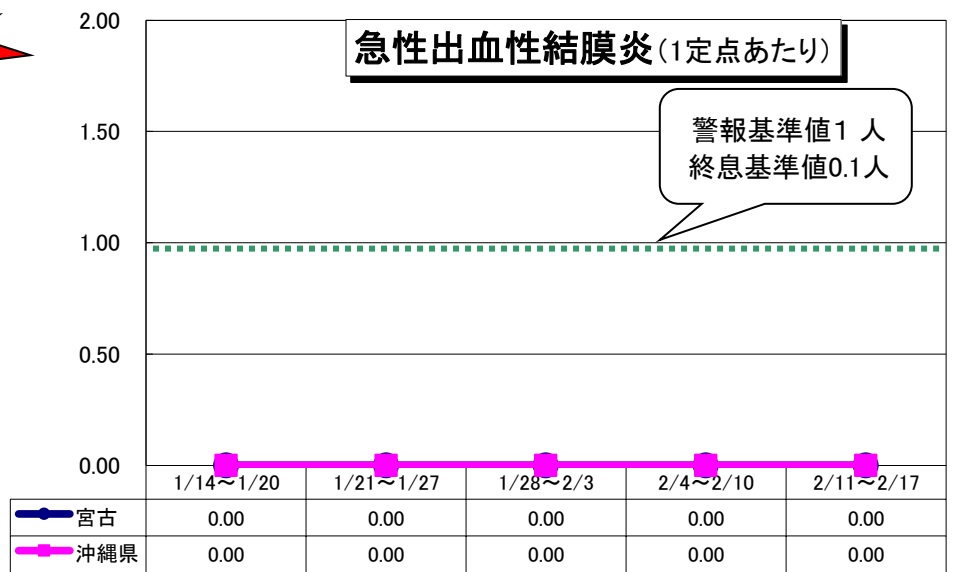
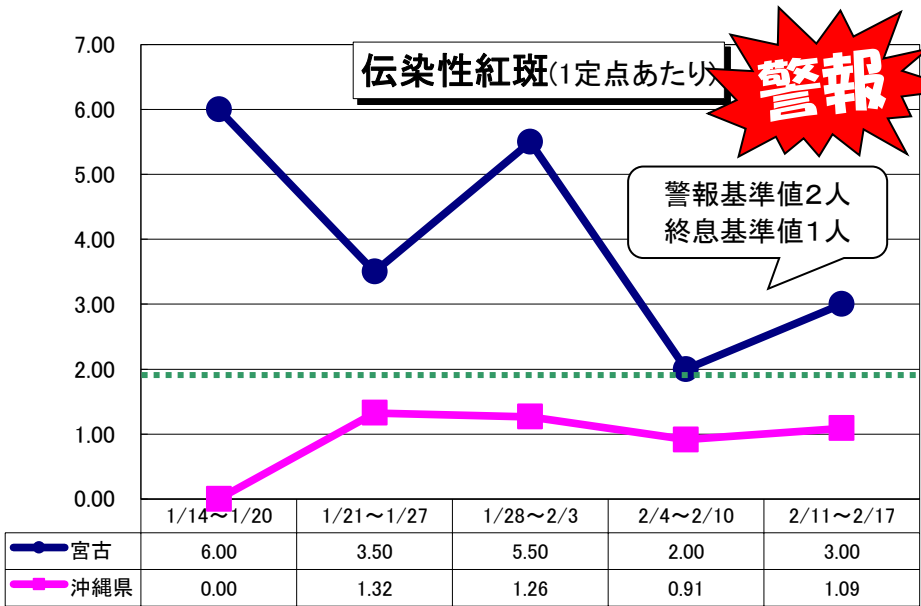
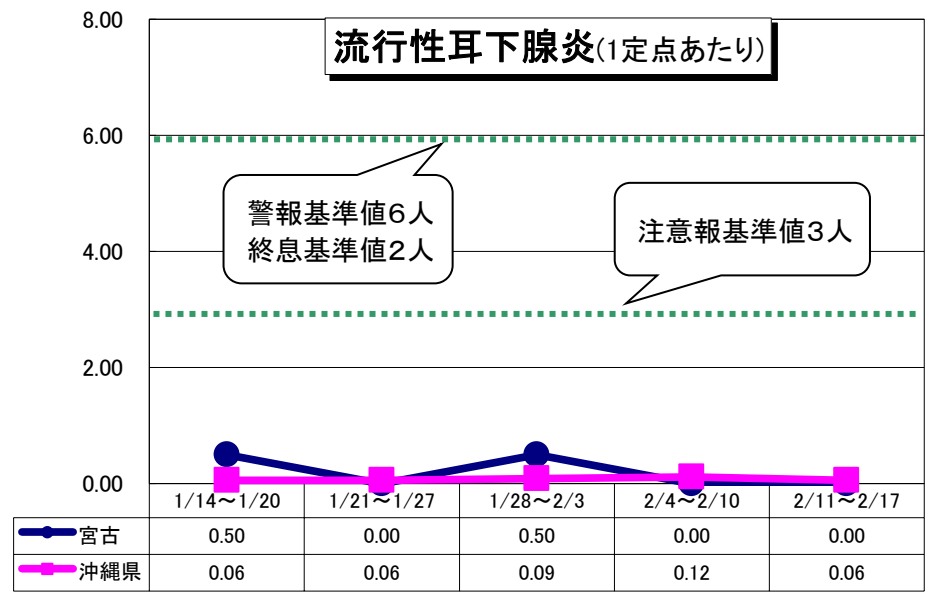
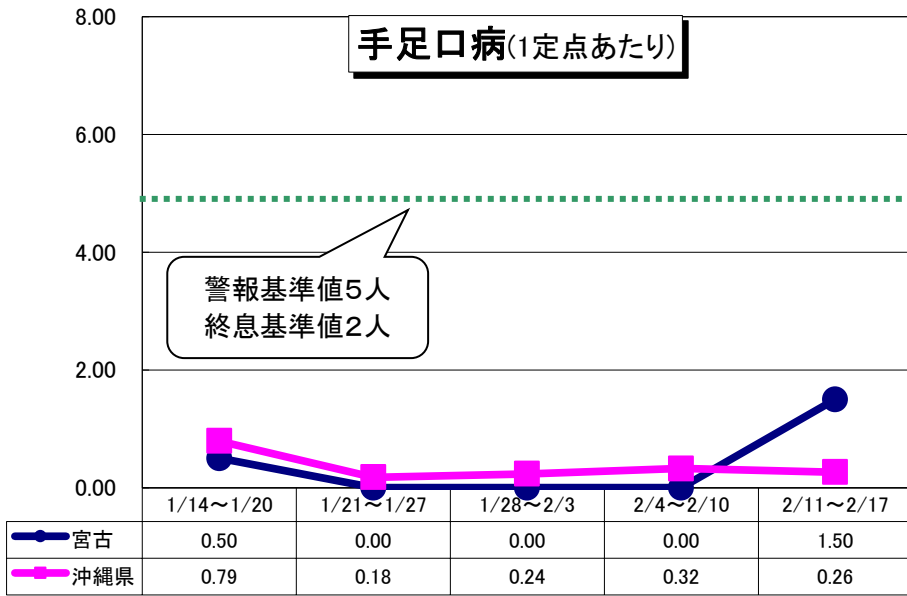
宮古管内で伝染性紅斑が警報レベルとなっています。伝染性紅斑は通常飛沫・接触にて感染しますが、紅斑の出現する時期には既に感染力はありません。

* インフルエンザ

県全体に警報が出ています。「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策の徹底に加えて、発熱等がある場合は、不要不急の外出を控えてください。必要があれば予防接種を検討してください。

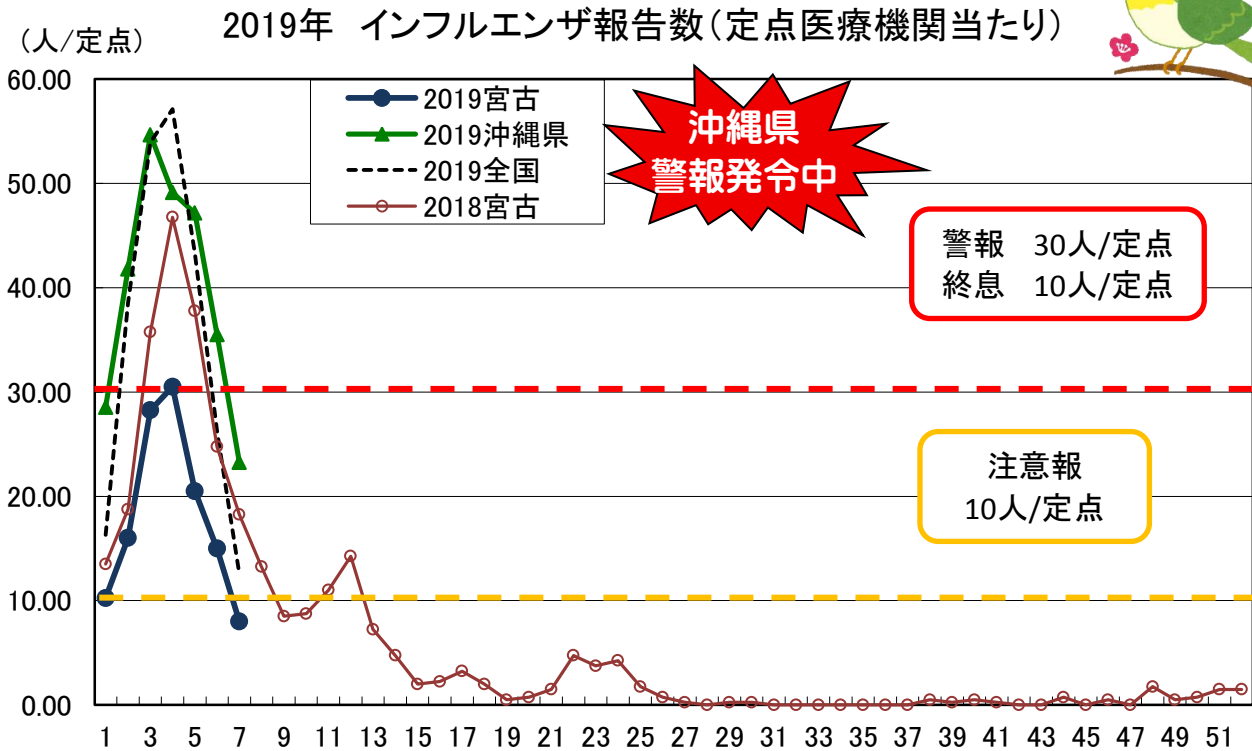


宮古保健所管内 感染症発生動向 (第7週) 平成31年2月



宮古保健所管内 インフルエンザ (第7週 2/11~2/17)

1. 定点あたり報告数の推移



		1月				2月	
保健所等\週		2	3	4	5	6	7
インフルエンザ (報告数)	北部	141	201	145	112	101	65
	中部	800	819	1046	1004	825	457
	那覇市	621	1083	686	697	545	361
	南部	590	761	695	737	454	367
	宮古	64	113	122	82	60	32
	八重山	208	195	154	102	74	66
	沖縄県	2424	3172	2848	2734	2059	1348
	全国	190527	267596	283388	214592	129989	61992
インフルエンザ (定点あたり報告数)	北部	28.20	40.20	29.00	22.40	20.20	13.00
	中部	40.00	40.95	52.30	50.20	41.25	22.85
	那覇市	51.75	90.25	57.17	58.08	45.42	30.08
	南部	42.14	54.36	49.64	52.64	32.43	26.21
	宮古	16.00	28.25	30.50	20.50	15.00	8.00
	八重山	69.33	65.00	51.33	34.00	24.67	22.00
	沖縄県	41.79	54.69	49.10	47.14	35.50	23.24
	全国	38.54	53.91	57.09	43.24	26.28	12.49



警報 (30人以上)
注意報 (10人以上)
流行の兆し (1.0人以上)

2. 管内の学級閉鎖等 (期間)

なし

【学校等欠席者・感染症情報システムより】

3. インフルエンザによる入院

2人

うつらないために
手洗い



うつさないために
咳エチケット



宮古保健所管内 インフルエンザ（第7週 2/11~2/17）

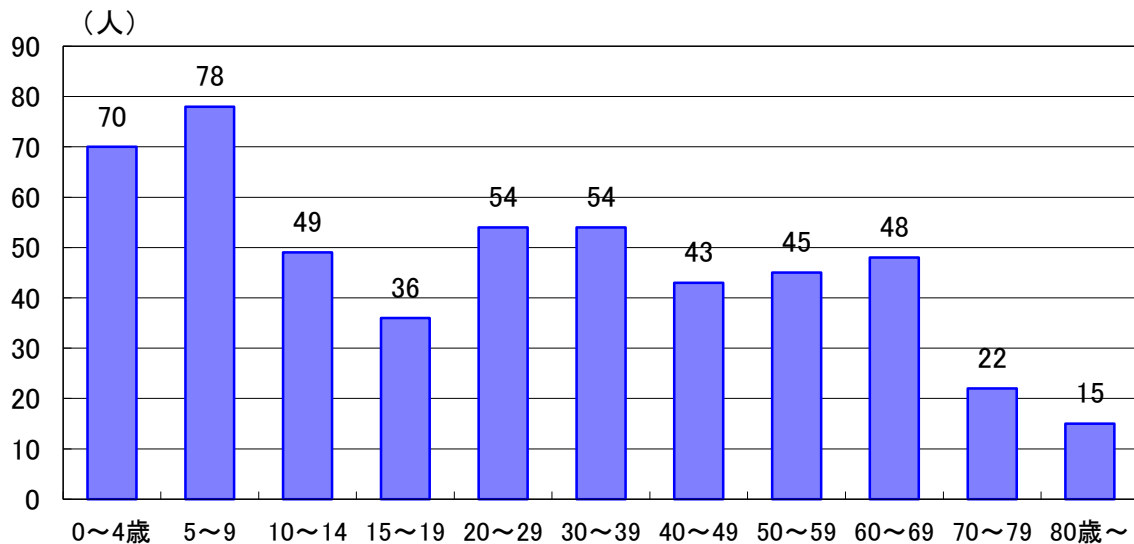
4. 年齢階級別報告数（直近7週間）

年齢\週	1	2	3	4	5	6	7
	12/31~ 1/6	1/7~ 1/13	1/14~ 1/20	1/21~ 1/27	1/28~ 2/3	2/4~2/10	2/11~ 2/17
0-4歳	3	10	13	15	18	9	2
5-9歳	4	11	19	18	13	9	4
10-14歳	1	0	26	9	4	6	3
15-19歳	3	4	5	13	8	2	1
20-29歳	10	4	8	15	10	4	3
30-39歳	3	9	8	7	8	9	10
40-49歳	2	9	9	14	2	5	2
50-59歳	5	6	11	10	7	3	3
60-69歳	5	6	10	10	6	8	3
70-79歳	2	4	4	5	3	4	0
80歳以上	3	1	0	6	3	1	1
合計	41	64	113	122	82	60	32

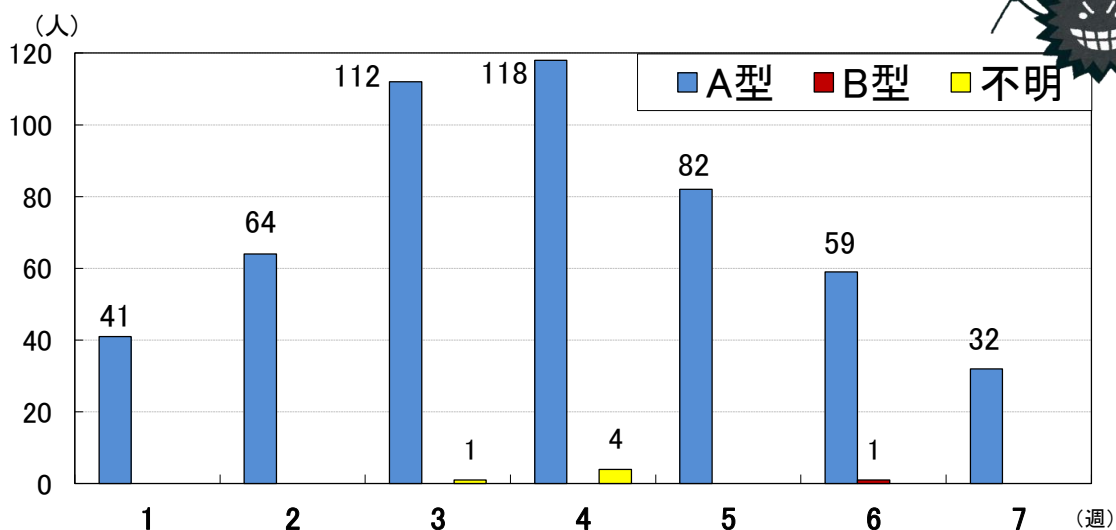
インフルエンザ
の予防接種を



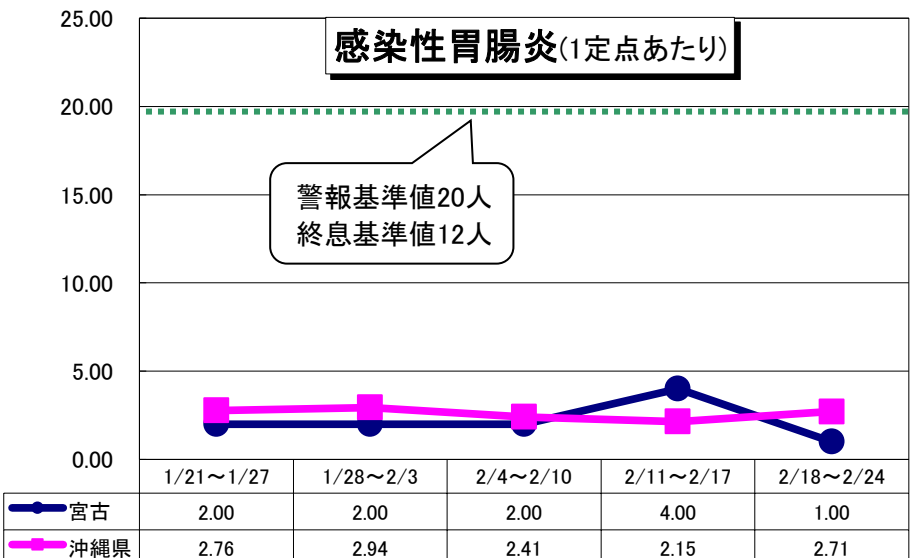
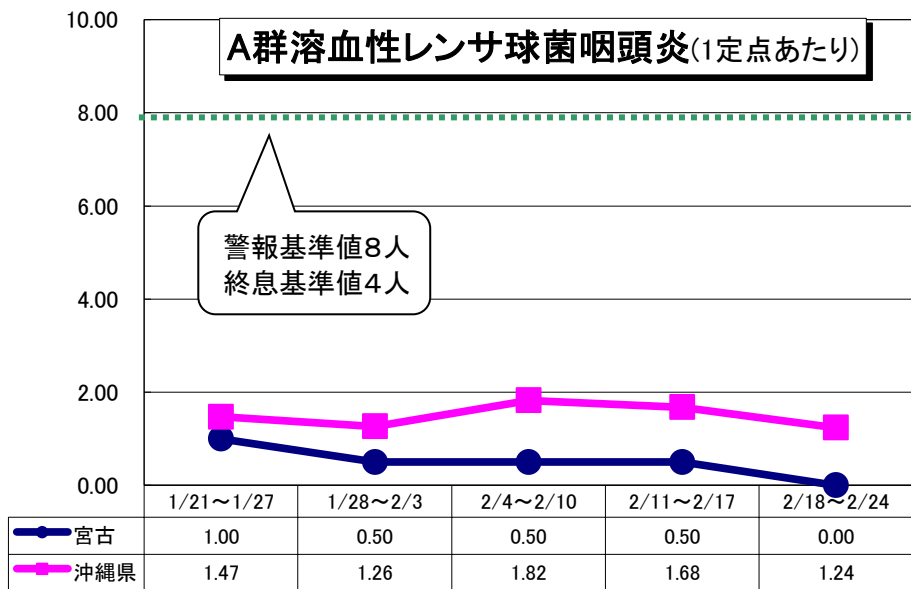
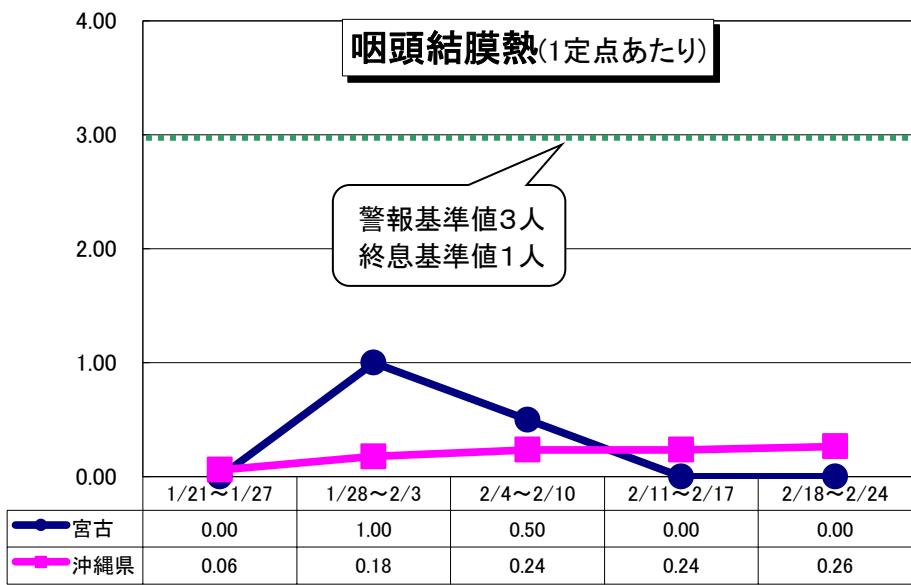
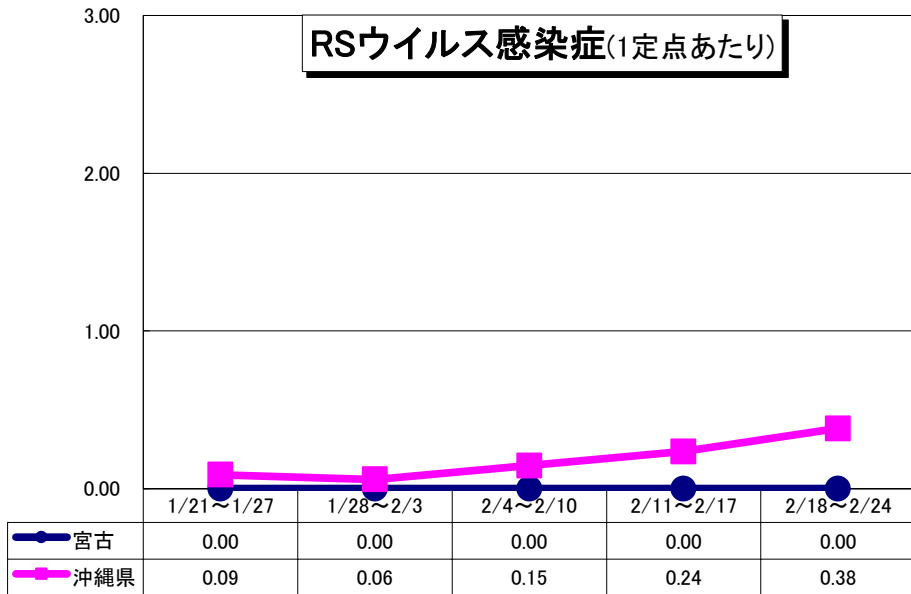
5. 年齢階級別報告数（2019年宮古管内累計）



6. 管内のインフルエンザ型別内訳



宮古保健所管内 感染症発生動向（第8週） 平成31年2月



* インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数は

宮古 : 30.50人→20.50人→15.00人→8.00人→**6.50人**
 沖縄県 : 49.10人→47.14人→35.50人→23.24人→**13.24人**
 全国 : 57.09人→43.24人→26.28人→12.49人→**8.99人**

* 定点報告疾患について

- 県全体の警報・注意報レベルに達した疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> **インフルエンザ**
 <注意報レベル> なし
- 各保健所で警報・注意報レベルの疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> インフルエンザ(那覇市、中部、南部、八重山)
伝染性紅斑(北部、中部、南部、宮古)
 <注意報レベル> なし



* 全数報告疾患について

- 二類 : 結核(那覇市4件、中部1件、南部1件、宮古1件)
 五類 : アメーバ赤痢(南部1件)
 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(中部1件)
 急性脳炎(南部1件)
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(南部1件)
 侵襲性インフルエンザ菌感染症(中部1件)
 侵襲性肺炎球菌感染症(中部2件)
 百日咳(那覇市1件、中部1件)



* 風しん

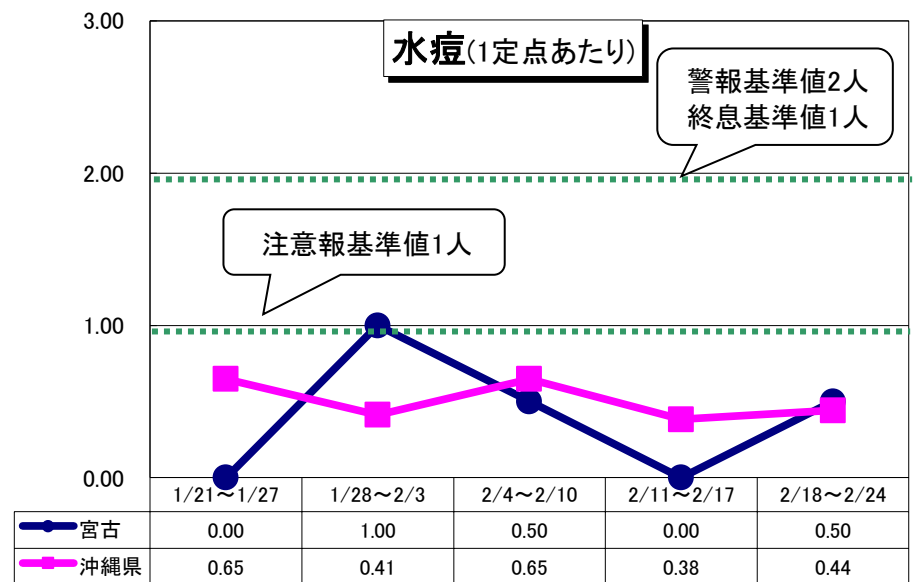
関東で30~50代男性を中心に風しんが流行しています。沖縄県内では2018年に12件、2019年に9件の報告があります。これまで風しんにかかっていない方、風しんの予防接種を受けていない方、妊娠を希望する女性等は注意してください。必要があれば予防接種を検討してください。

* 伝染性紅斑(俗名:りんご病)

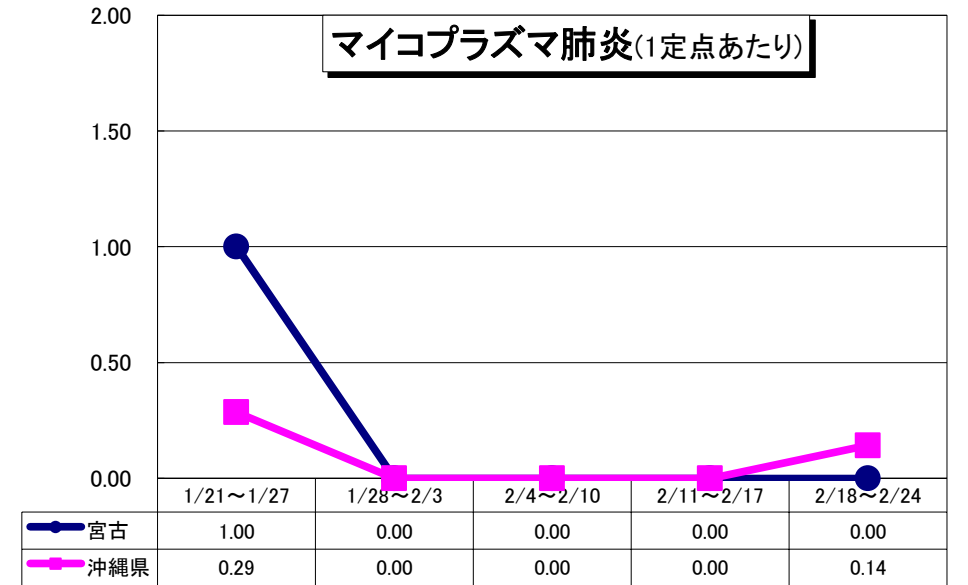
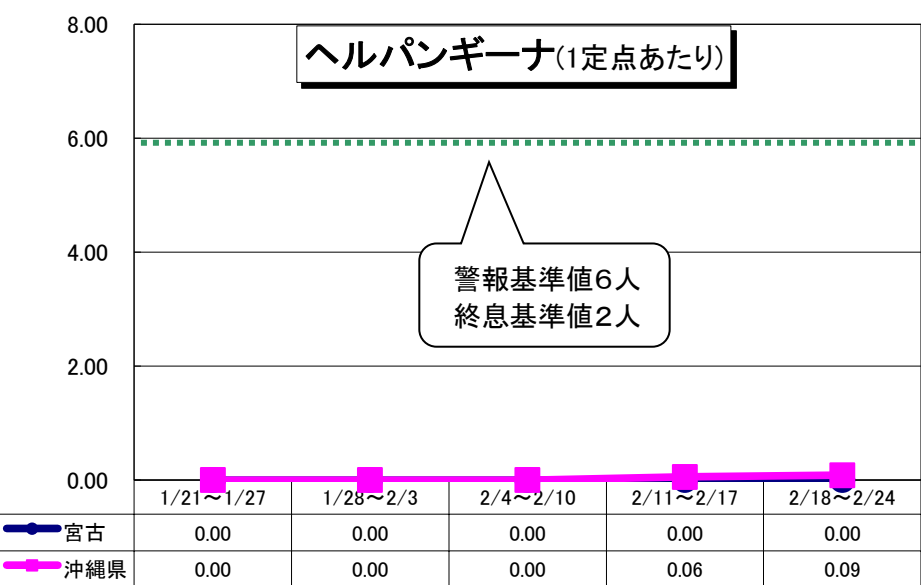
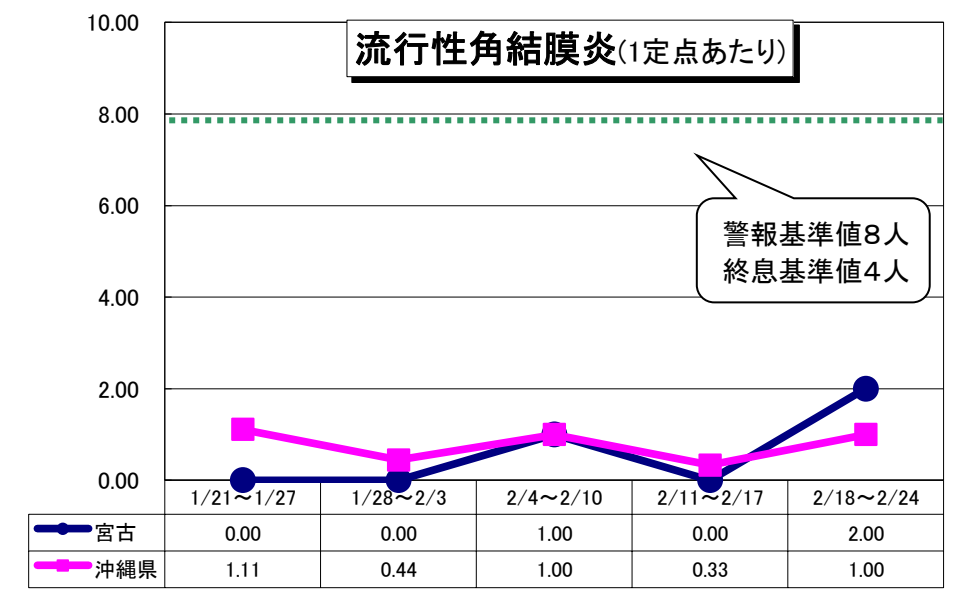
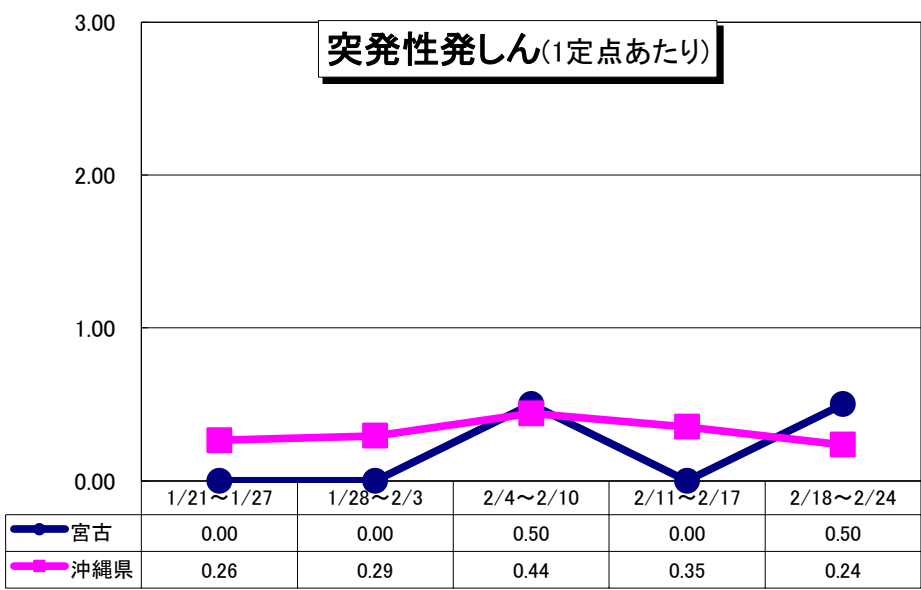
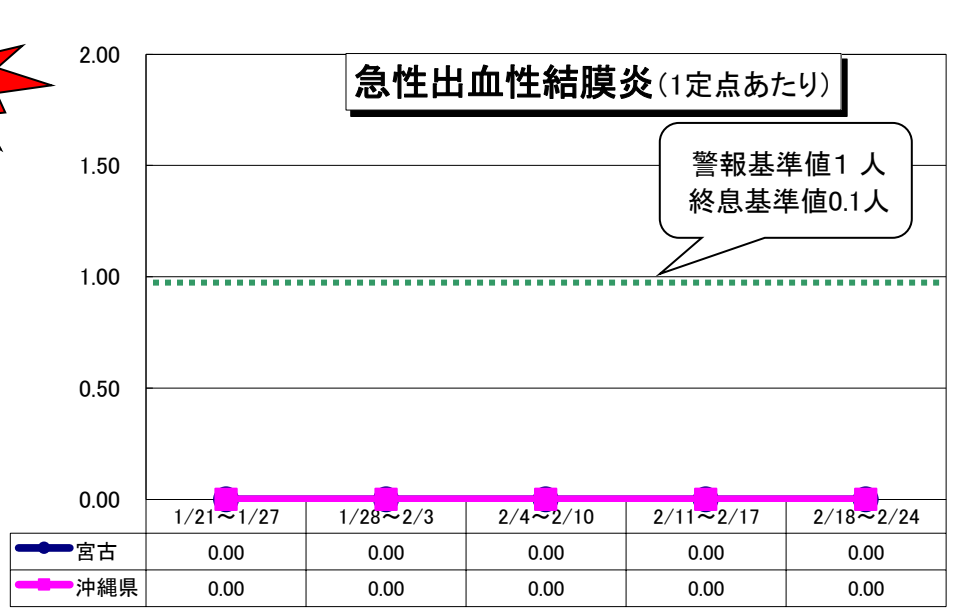
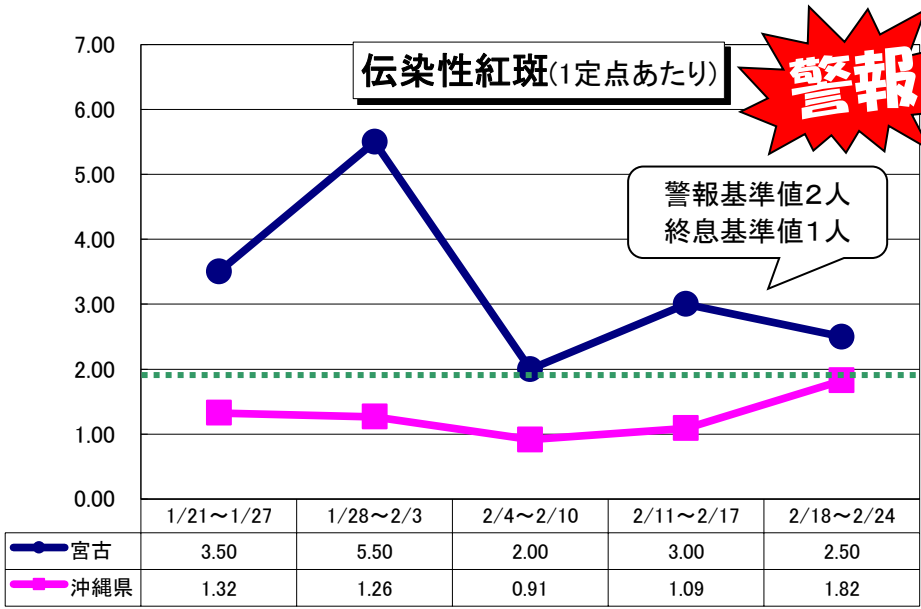
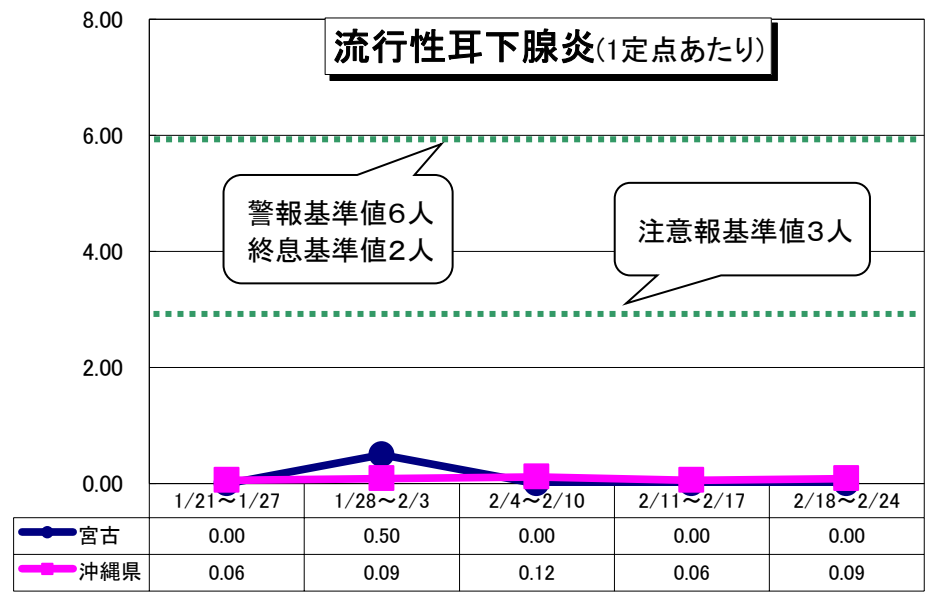
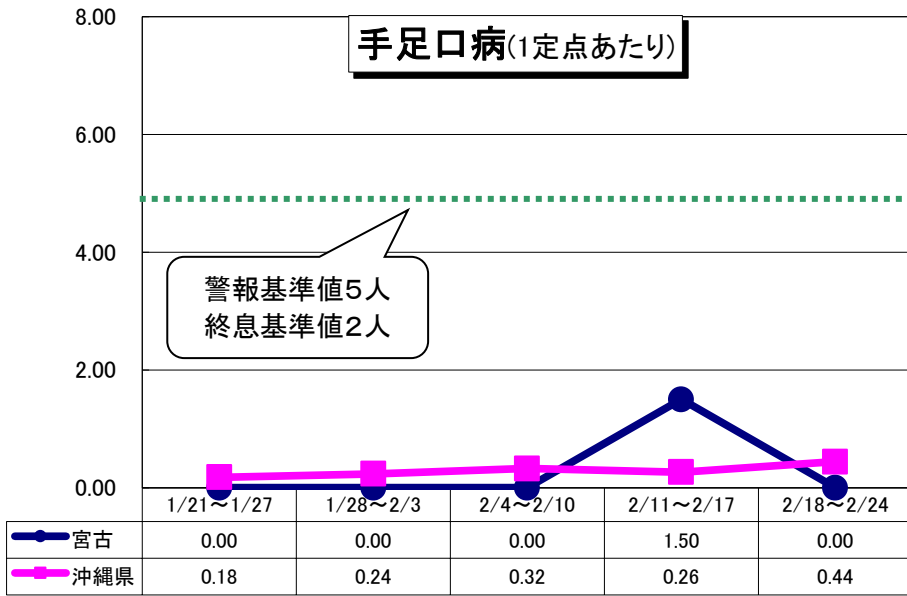
宮古管内で伝染性紅斑が警報レベルとなっています。伝染性紅斑は通常飛沫・接触にて感染しますが、紅斑の出現する時期には既に感染力はありません。

* インフルエンザ

県全体に警報が出ています。「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策の徹底に加えて、発熱等がある場合は、不要不急の外出を控えてください。

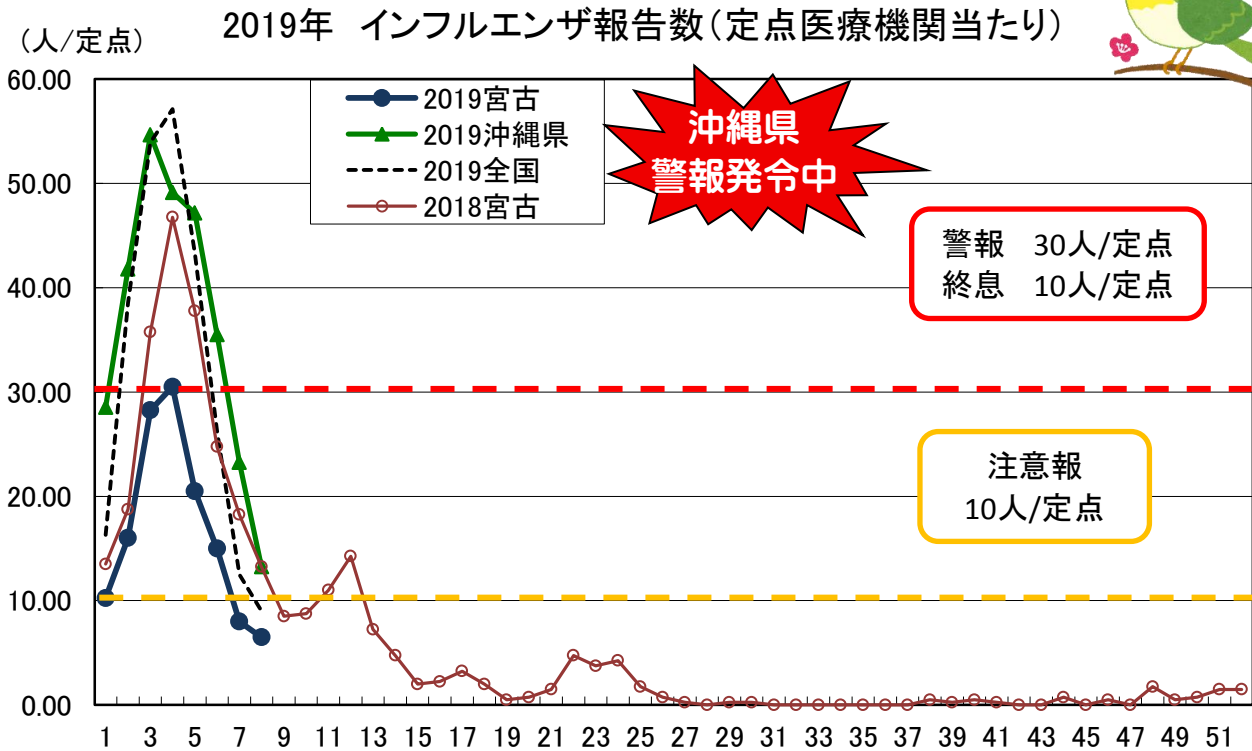


宮古保健所管内 感染症発生動向（第8週） 平成31年2月



宮古保健所管内 インフルエンザ（第8週 2/18～2/24）

1. 定点あたり報告数の推移



		1月			2月		
保健所等\週		3	4	5	6	7	8
インフルエンザ (報告数)	北部	201	145	112	101	65	34
	中部	819	1046	1004	825	457	298
	那覇市	1083	686	697	545	361	187
	南部	761	695	737	454	367	168
	宮古	113	122	82	60	32	26
	八重山	195	154	102	74	66	55
	沖縄県	3172	2848	2734	2059	1348	768
	全国	267596	283388	214592	129989	61992	44601
インフルエンザ (定点あたり報告数)	北部	40.20	29.00	22.40	20.20	13.00	6.80
	中部	40.95	52.30	50.20	41.25	22.85	14.90
	那覇市	90.25	57.17	58.08	45.42	30.08	15.58
	南部	54.36	49.64	52.64	32.43	26.21	12.00
	宮古	28.25	30.50	20.50	15.00	8.00	6.50
	八重山	65.00	51.33	34.00	24.67	22.00	18.33
	沖縄県	54.69	49.10	47.14	35.50	23.24	13.24
	全国	53.91	57.09	43.24	26.28	12.49	8.99



警報 (30人以上)
注意報 (10人以上)
流行の兆し (1.0人以上)

2. 管内の学級閉鎖等（期間）

なし

【学校等欠席者・感染症情報システムより】

3. インフルエンザによる入院

なし

うつらないために
手洗い



うつさないために
咳エチケット



宮古保健所管内 インフルエンザ（第8週 2/18～2/24）

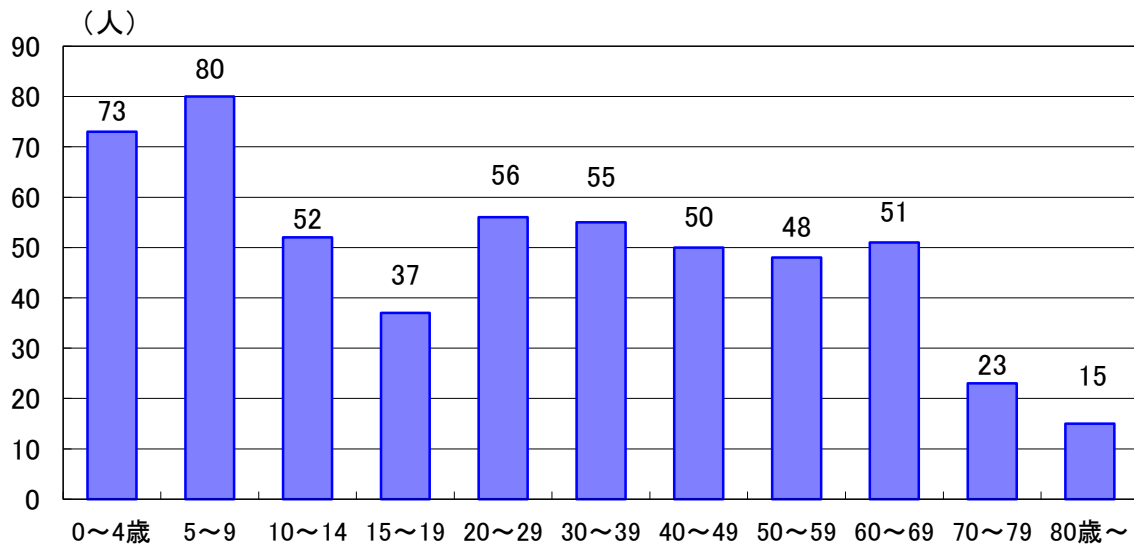
4. 年齢階級別報告数（直近7週間）

年齢\週	2	3	4	5	6	7	8
	1/7～ 1/13	1/14～ 1/20	1/21～ 1/27	1/28～ 2/3	2/4～2/10	2/11～ 2/17	2/18～ 2/24
0-4歳	10	13	15	18	9	2	3
5-9歳	11	19	18	13	9	4	2
10-14歳	0	26	9	4	6	3	3
15-19歳	4	5	13	8	2	1	1
20-29歳	4	8	15	10	4	3	2
30-39歳	9	8	7	8	9	10	1
40-49歳	9	9	14	2	5	2	7
50-59歳	6	11	10	7	3	3	3
60-69歳	6	10	10	6	8	3	3
70-79歳	4	4	5	3	4	0	1
80歳以上	1	0	6	3	1	1	0
合計	64	113	122	82	60	32	26

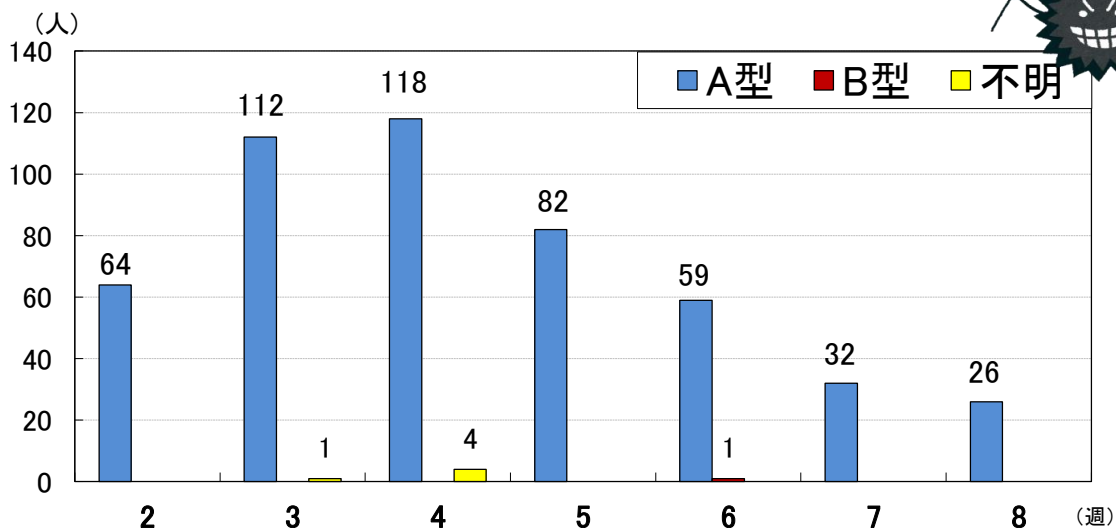
インフルエンザ
の予防接種を



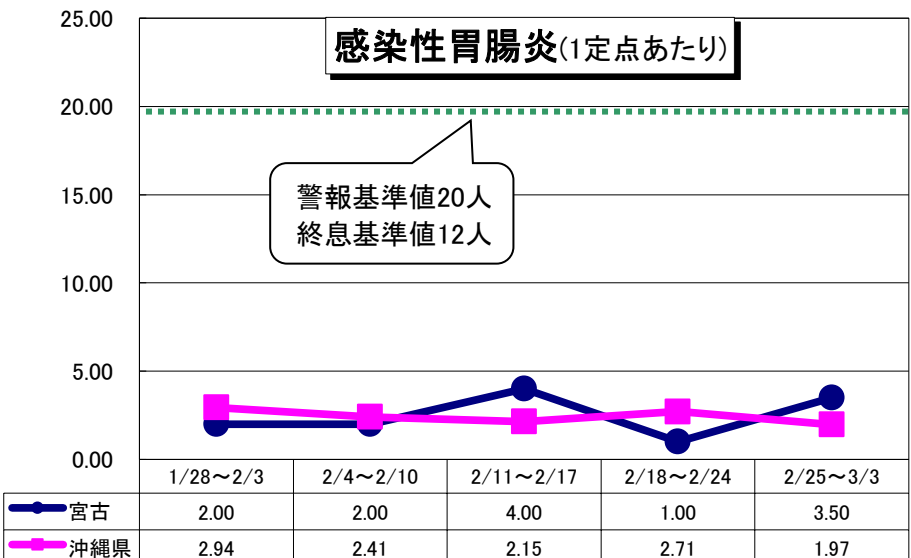
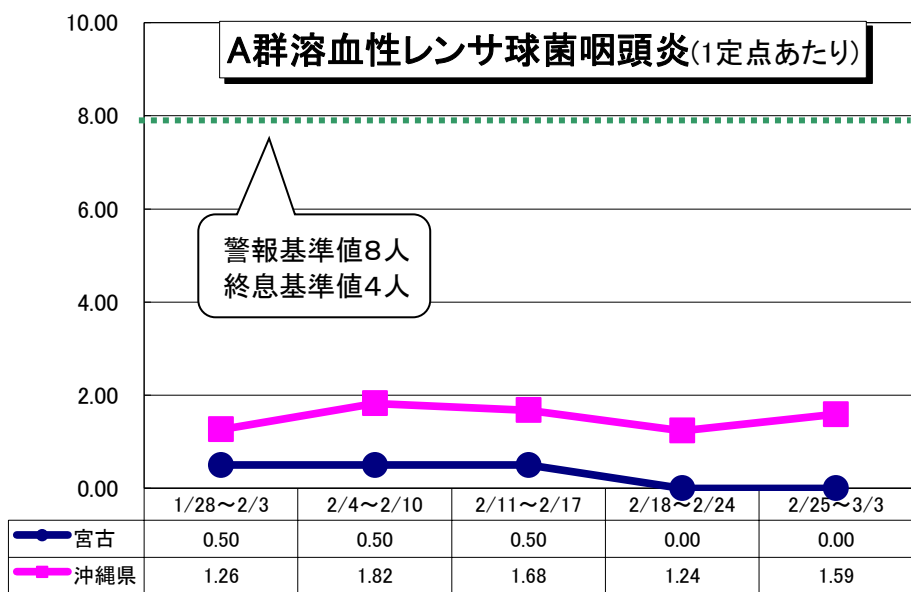
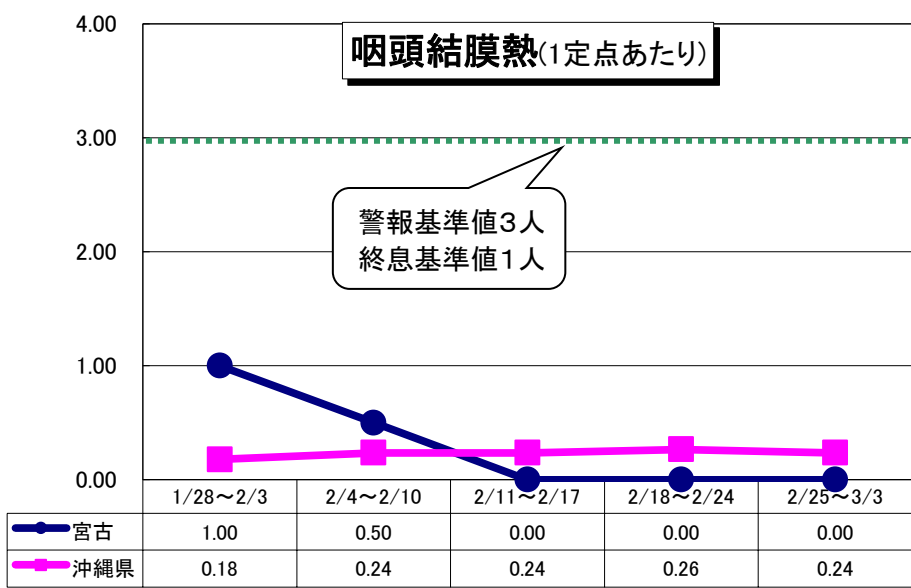
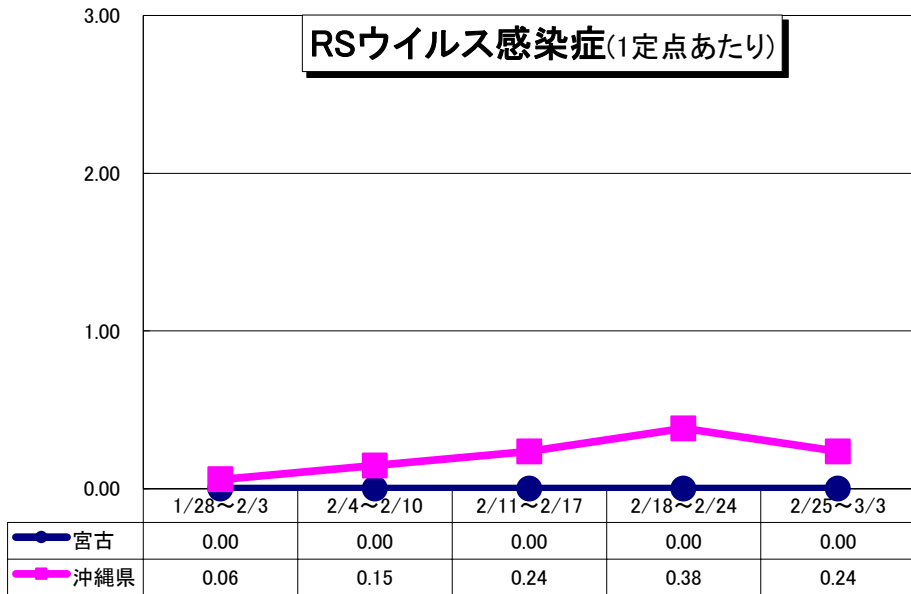
5. 年齢階級別報告数（2019年宮古管内累計）



6. 管内のインフルエンザ型別内訳



宮古保健所管内 感染症発生動向（第9週） 平成31年2月



*** インフルエンザ** 定点医療機関あたりの報告数は
 宮古 : 20.50人→15.00人→8.00人→6.50人→**3.50人**
 沖縄県 : 47.14人→35.50人→23.24人→13.24人→**9.72人**
 全国 : 43.24人→26.28人→12.49人→8.99人→**5.93人**

*** 定点報告疾患について**

- 県全体の警報・注意報レベルに達した疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> 伝染性紅斑
 <注意報レベル> なし
- 各保健所で警報・注意報レベルの疾患は下記のとおりです
 <警報レベル> インフルエンザ(那覇市、南部)
 水痘(八重山)
 伝染性紅斑(北部、中部、南部、宮古)
 <注意報レベル> なし



*** 全数報告疾患について**

- 二類 : 結核(北部1件、中部2件、南部3件)
- 四類 : レジオネラ症(中部1件)
- 五類 : カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(那覇市1件)
 後天性免疫不全症候群(南部1件)
 侵襲性肺炎球菌感染症(北部1件、中部1件)
 梅毒(中部1件、南部1件)
 百日咳(中部1件、南部1件)
 風しん(那覇市1件、南部1件)



*** 風しん**

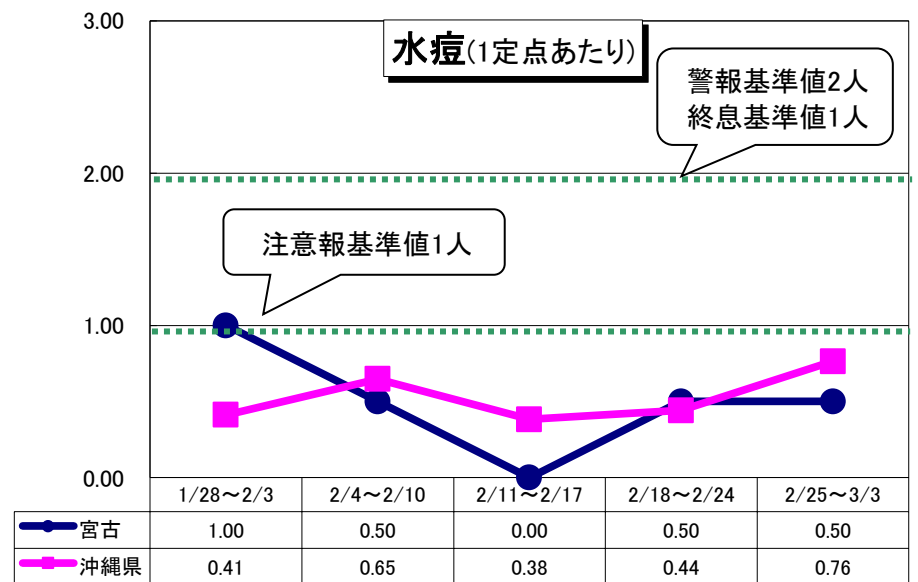
関東で30~50代男性を中心に風しんが流行しています。沖縄県内では2018年に12件、2019年に9件の報告があります。これまで風しんにかかっていない方、風しんの予防接種を受けていない方、妊娠を希望する女性等は注意してください。必要があれば予防接種を検討してください。

*** 伝染性紅斑(俗名:りんご病)**

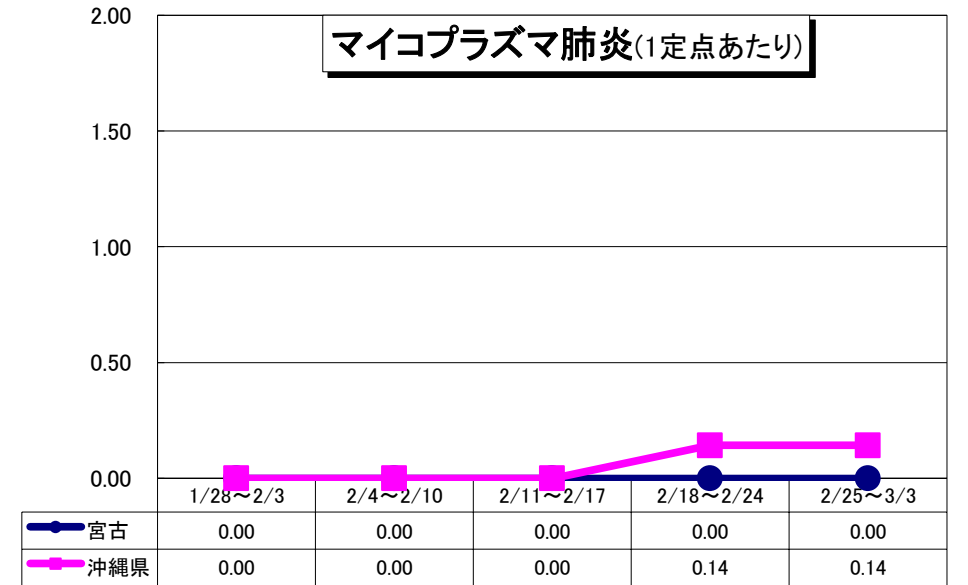
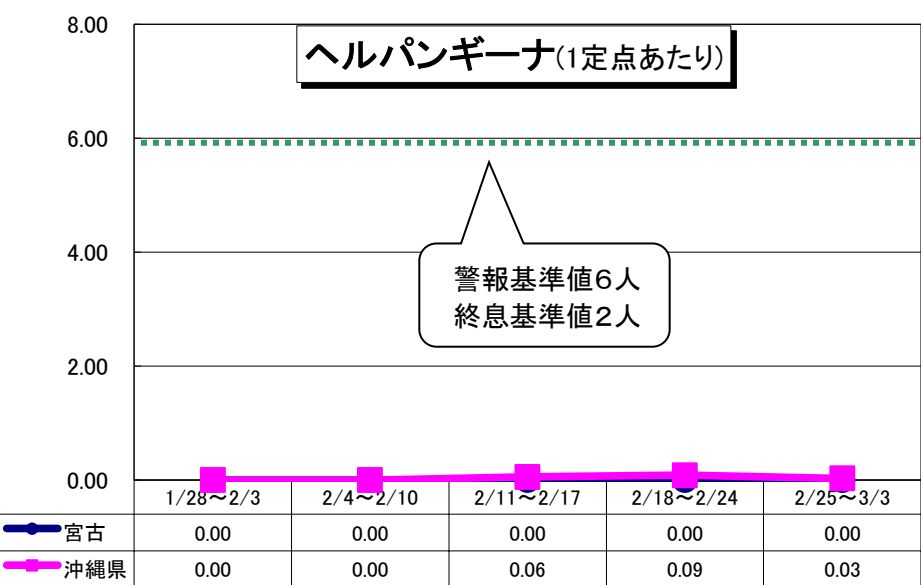
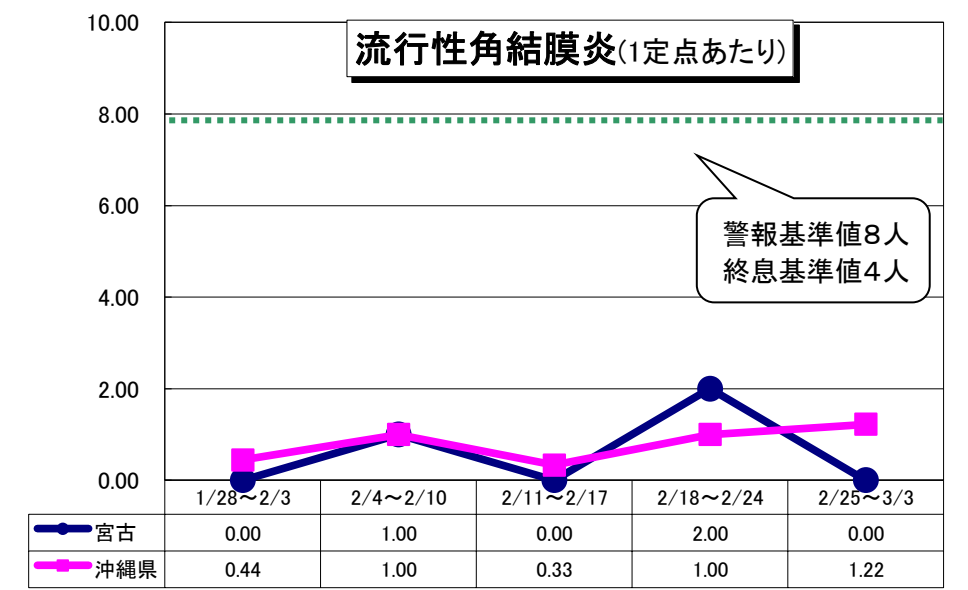
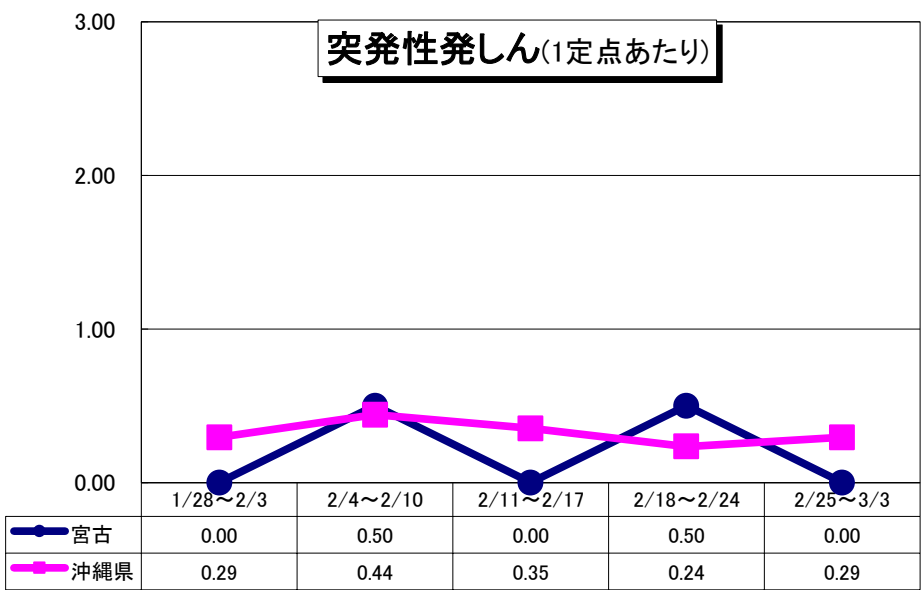
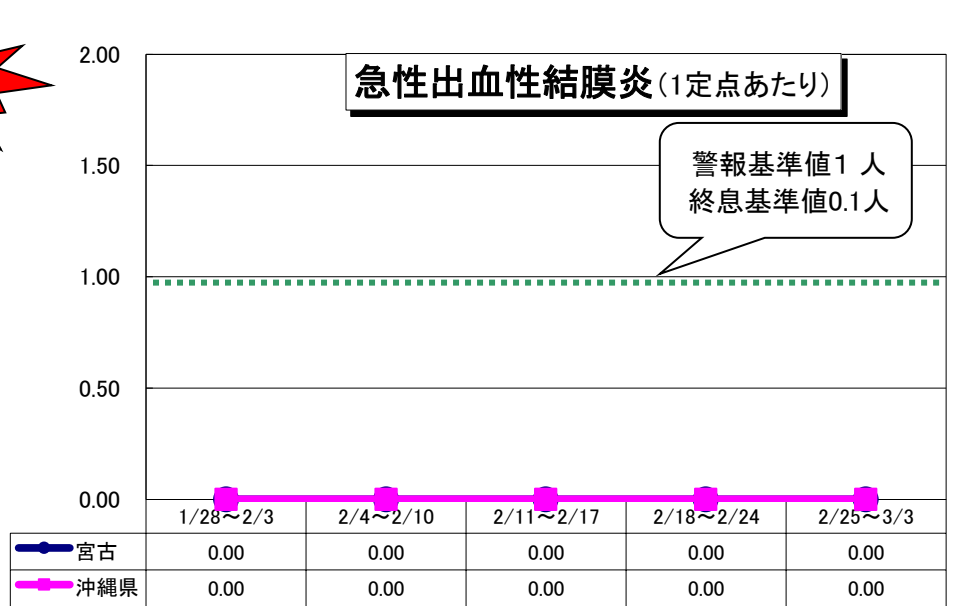
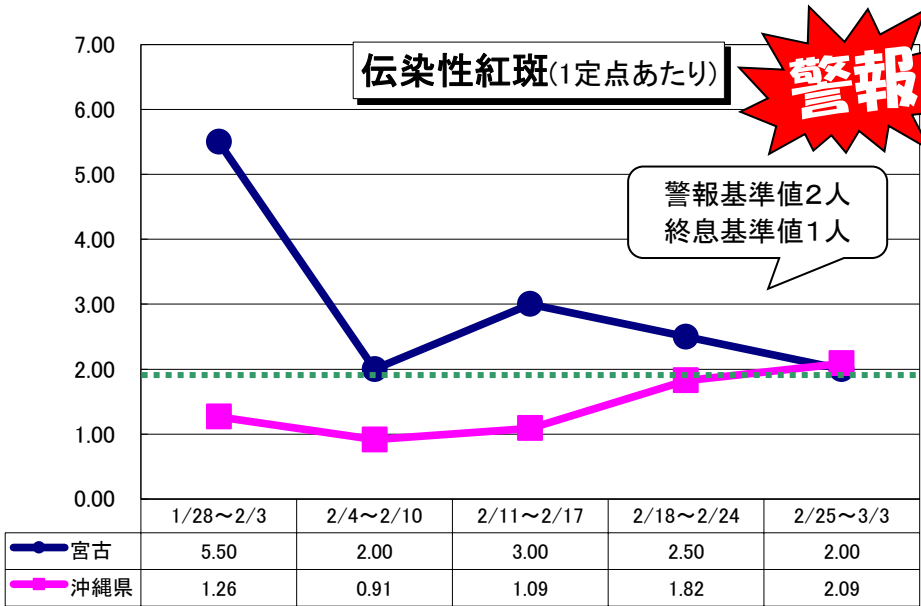
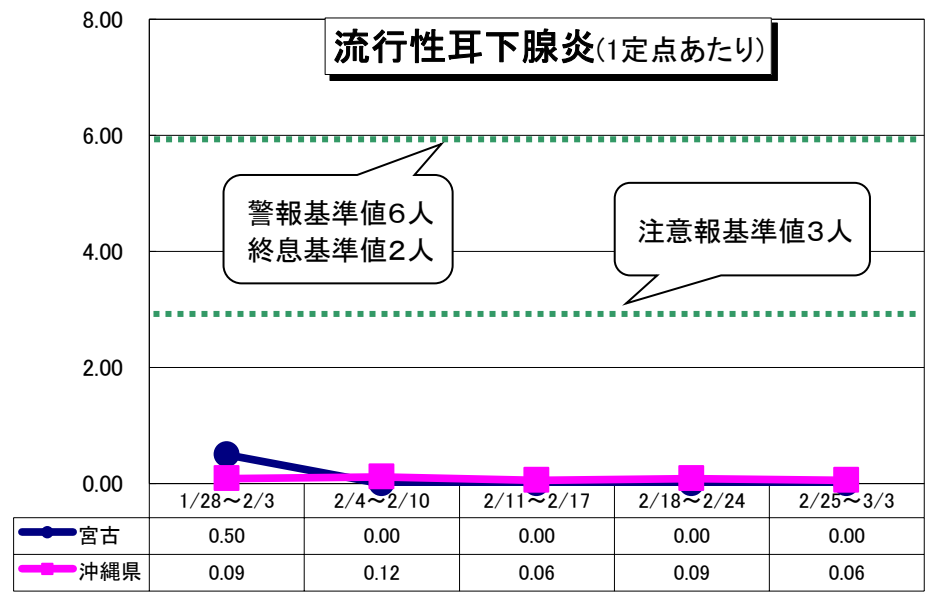
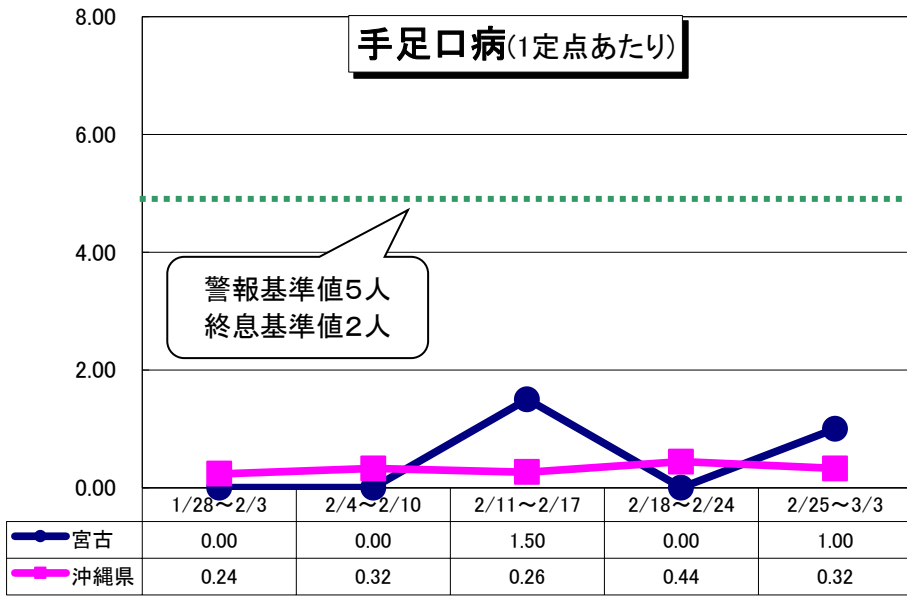
県全体で警報レベルとなっています。伝染性紅斑は通常飛沫・接触にて感染しますが、紅斑の出現する時期には既に感染力はありません。

*** インフルエンザ**

県全体の警報は解除となりましたが、例年の傾向として、3月頃からB型インフルエンザの患者が増加します。「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策の徹底に加えて、発熱等がある場合は、不要不急の外出を控えてください。必要があれば予防接種を検討してください。

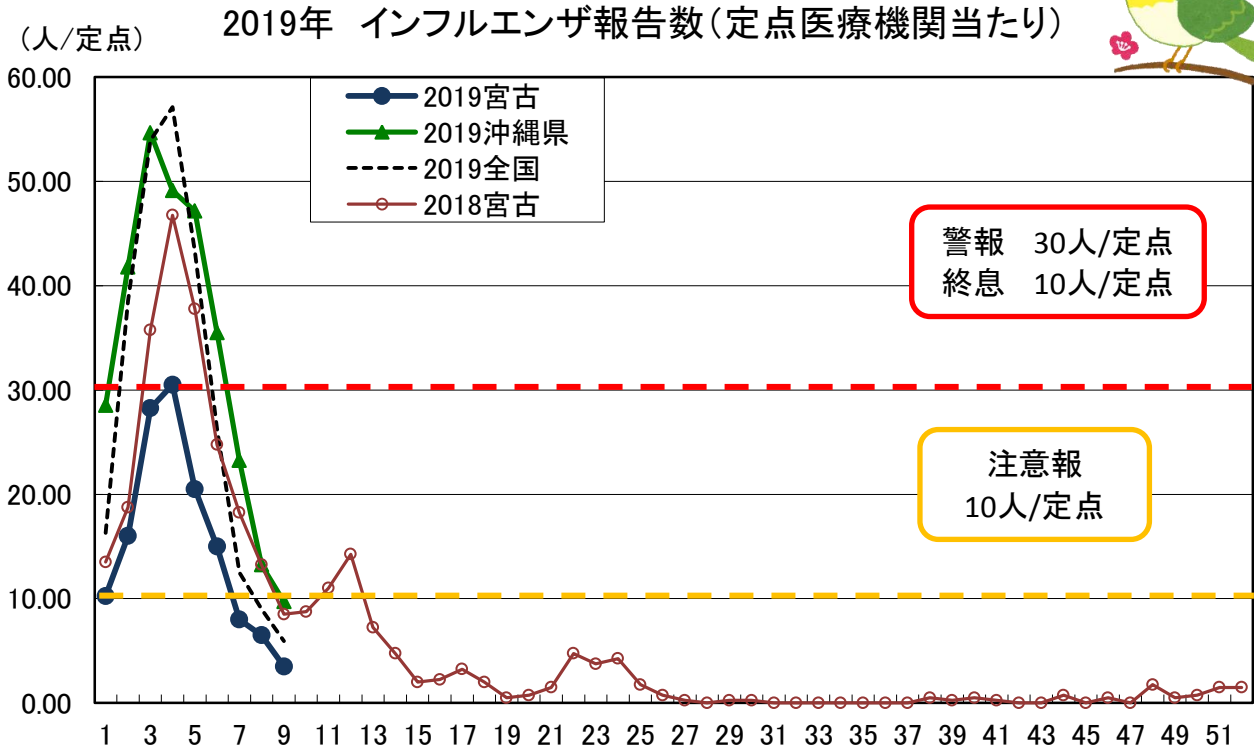


宮古保健所管内 感染症発生動向 (第9週) 平成31年2月



宮古保健所管内 インフルエンザ (第9週 2/25~3/3)

1. 定点あたり報告数の推移



		1月		2月			
保健所等\週		4	5	6	7	8	9
インフルエンザ (報告数)	北部	145	112	101	65	34	37
	中部	1046	1004	825	457	298	199
	那覇市	686	697	545	361	187	137
	南部	695	737	454	367	168	159
	宮古	122	82	60	32	26	14
	八重山	154	102	74	66	55	18
	沖縄県	2848	2734	2059	1348	768	564
	全国	283388	214592	129989	61992	44601	29384
インフルエンザ (定点あたり報告数)	北部	29.00	22.40	20.20	13.00	6.80	7.40
	中部	52.30	50.20	41.25	22.85	14.90	9.95
	那覇市	57.17	58.08	45.42	30.08	15.58	11.42
	南部	49.64	52.64	32.43	26.21	12.00	11.36
	宮古	30.50	20.50	15.00	8.00	6.50	3.50
	八重山	51.33	34.00	24.67	22.00	18.33	6.00
	沖縄県	49.10	47.14	35.50	23.24	13.24	9.72
	全国	57.09	43.24	26.28	12.49	8.99	5.93



警報 (30人以上)
注意報 (10人以上)
流行の兆し (1.0人以上)

2. 管内の学級閉鎖等 (期間)

なし

【学校等欠席者・感染症情報システムより】

3. インフルエンザによる入院

なし

うつらないために
手洗い



うつさないために
咳エチケット



宮古保健所管内 インフルエンザ（第9週 2/25～3/3）

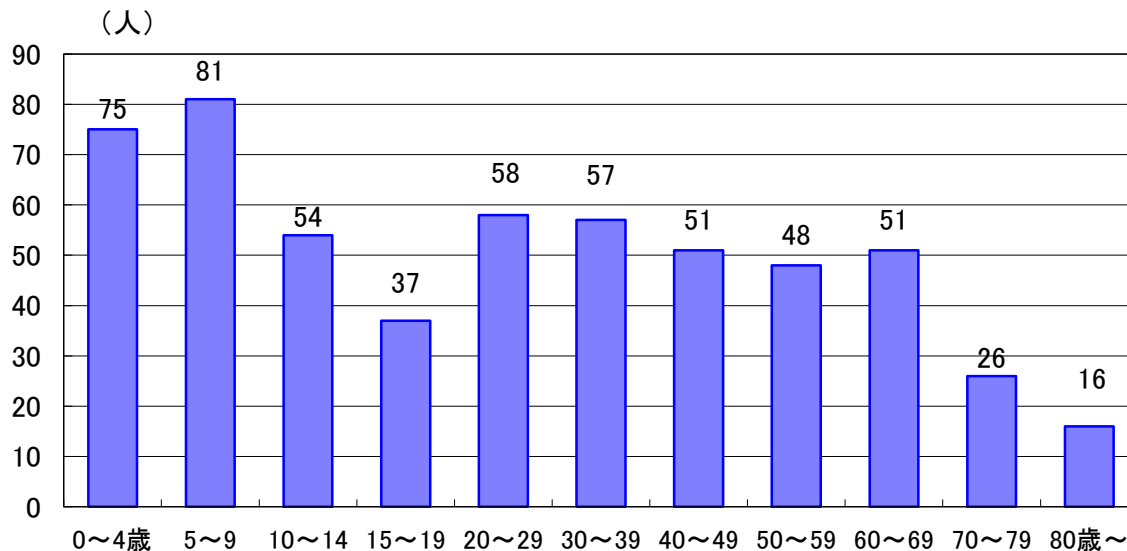
4. 年齢階級別報告数（直近7週間）

年齢\週	3	4	5	6	7	8	9
	1/14～ 1/20	1/21～ 1/27	1/28～ 2/3	2/4～2/10	2/11～ 2/17	2/18～ 2/24	2/25～3/3
0-4歳	13	15	18	9	2	3	2
5-9歳	19	18	13	9	4	2	1
10-14歳	26	9	4	6	3	3	2
15-19歳	5	13	8	2	1	1	0
20-29歳	8	15	10	4	3	2	2
30-39歳	8	7	8	9	10	1	2
40-49歳	9	14	2	5	2	7	1
50-59歳	11	10	7	3	3	3	0
60-69歳	10	10	6	8	3	3	0
70-79歳	4	5	3	4	0	1	3
80歳以上	0	6	3	1	1	0	1
合計	113	122	82	60	32	26	14

インフルエンザ
の予防接種を



5. 年齢階級別報告数（2019年宮古管内累計）



6. 管内のインフルエンザ型別内訳

